



観光DXによる地域経済活性化に関する 先進的な観光地の創出に向けた実証事業

成果報告書

北陸インバウンド観光DX推進事業

北陸インバウンド観光DX・データコンソーシアム

2025年1月31日

目次

1. はじめに

1. 地域の魅力・特徴

1. 富山県／石川県／福井県

2. 地域が目指す姿

1. 中長期・実証事業期間の目的

3. 実証事業

1. 全体像

2. 目標設定・取組内容

3. 各取組の詳細

取組1.インバウンド観光データの網羅的な収集・把握

取組2.オープンデータ化、見える化、BIツール化等の推進

取組3.データの社会実装及び必要な環境の整備

取組4.データリテラシーの高い人材の育成

5. 総括

1. 実証事業の成果

2. 今後の展望

5. 実施体制

1. 体制図

6. おわりに

1.はじめに

背景

1. 広域周遊に係るDXを活用したデータ収集は世界共通の課題

(県境をまたぐ観光動態のデータを共通フォーマットで収集した事例は世界でも例が無い)

- 北陸新幹線敦賀延伸のタイミングをとらえ、北陸三県のデータを産官学それぞれが活用可能な形で収集・活用することで、北陸エリアから世界的な観光研究の成果を生み出すとともに、世界中から研究者等が集まるような観光科学の拠点となる

2. 能登地震からの復興に向けて、観光産業による貢献は不可欠

- 収集したデータのオープン化・見える化などを通じ、「創造的復興」に向けた、被災地における効果的な観光誘客やいわゆる「復興ツーリズム」の推進、創造的復興リーディングプロジェクトの創出等に向けた取組を後押しできる

3. 観光振興は北陸三県の産学官の各プレイヤーに共通する大きな課題

- データの取得及びマーケティング手法の検討・実践を行うことを通じ、北陸エリアが一体となったインバウンド観光の推進を促すことができる
(=大学・研究所としての社会貢献)

背景

TIFDATA

北陸観光データポータル

データリスト

TIFDATAとは

お知らせ

ご利用にあたっての注意

お問い合わせ

データを検索



関連リンク

LINKS



富山県 ツーリズム統計基盤
「TOYTOS」



石川県観光データ分析
プラットフォーム
「Milli」



福井県観光データ分析システム
「FTAS」

© 北陸インバウンド観光DX・データコンソーシアム

1.はじめに

「観光DXによる地域経済活性化に関する先進的な観光地の創出に向けた実証事業」
において、推進する実施主体を示します。

コンソーシアム名

観光 DX による地域経済活性化に関する 先進的な観光地の創出に向けた実証事業

実施主体

■ 代表団体／企業

国立大学法人金沢大学

■ 活動地域

北陸 3 県（富山・石川・福井）

■ 活動概要・経歴

北陸地域（富山、石川、福井）で共通データの取得とマーケティング手法を実践し、インバウンド観光を推進するため、金沢大学（先端観光科学研究所）を代表とし、産学官連携のコンソーシアムを令和6年7月に発足しました。データ収集・活用を効果的に進め、成果を地域全体で共有することで、富裕層を含むインバウンド旅行者の周遊促進、金沢から地域展開を図り、滞在時間や消費額の向上を目指します。事業はデータ収集・把握、見える化、活用環境整備の3段階で取り組みます。

2.地域の魅力・特徴

2.地域の魅力・特徴

1.富山地域

地域の魅力、特徴を示します。

魅力

立山連峰や黒部峡谷等の大自然が織りなす絶景が魅力。海産物、特にホタルイカや白エビの新鮮な食材が豊富で、温泉地も多く、リフレッシュできるスポットが満載です。

特徴

・延べ宿泊者数：日本人317,110人泊／外国人15,890人泊（2024年9月）

出典：観光庁 宿泊旅行統計調査2024年9月・第2次速報

富山県は北アルプスに抱かれた美しい自然と、海産物に恵まれた地域です。立山連峰の雄大な景観や黒部峡谷、黒部ダム等の自然観光地が豊富。海沿いでは新鮮な魚介類が味わえ、温泉地も点在しています。

- 1.立山連峰と黒部峡谷：登山や観光列車が楽しめる大自然。
- 2.新鮮な海産物：ホタルイカや白エビが特産で、美味しい海の幸を堪能。
- 3.温泉地：宇奈月温泉や砺波温泉等、リラックスできる温泉地が多い。

取組地域

- ①黒部・宇奈月
- ②立山
- ③富山
- ④高岡・氷見・射水
- ⑤砺波・五箇山



2.地域の魅力・特徴

2.石川地域

地域の魅力、特徴を示します。

魅力

歴史と現代が融合した金沢市の兼六園や伝統工芸、美食、温泉地等が豊富に揃うことです。また、美しい海岸線や加賀温泉郷も観光スポットとして人気です。

特徴

・延べ宿泊者数：日本人735,840人泊／外国人163,010人泊（2024年9月）

出典：観光庁 宿泊旅行統計調査2024年9月・第2次速報

石川県は金沢市を中心に歴史と現代が調和する地域で、特に金沢の古い町並みや伝統的な文化が魅力です。また、加賀温泉郷や輪島の朝市も観光資源として重要です。

- 1.金沢市の観光名所：兼六園や21世紀美術館等、文化と自然が融合。
- 2.輪島の朝市：新鮮な海産物や地元の工芸品が並び、地域の活気を感じられる。
- 3.加賀温泉郷：8つの温泉地が点在し、歴史ある温泉地で癒しの時間を提供。

取組地域

- ①能登
- ②金沢
- ③加賀



2.地域の魅力・特徴

3.福井地域

地域の魅力、特徴を示します。

魅力

歴史ある名所と自然豊かな景観が魅力の地域で、恐竜化石が発掘されました場所でもあります。永平寺等の禅宗文化が根付いており、観光とともに非日常時間が過ごせることが魅力です。

特徴

・延べ宿泊者数：日本人280,280人泊／外国人4,880人泊（2024年9月）

出典：観光庁 宿泊旅行統計調査2024年9月・第2次速報

海と山が織りなす美しい自然景観と、観光地が融合した地域で、恐竜化石発見の地として知られ、福井県立恐竜博物館が有名です。また、永平寺に代表される禅宗文化も特徴的です。

- 1.恐竜博物館：世界一の恐竜化石展示があり、学びながら楽しめる。
- 2.風光明媚な海岸線：海水浴や釣り、地元の海産物が堪能できる。
- 3.禅宗の聖地：禅の精神が息づく歴史的な寺院で、心を癒す場所。

取組地域

- ①永平寺・奥越
- ②あわら・坂井
- ③福井
- ④丹南
- ⑤若狭路



3.地域が目指す姿

3.地域が目指す姿

1.中長期・実証事業期間の目的

地域の現状及び課題、中長期的に目指す姿や実証事業の目的を示します。

現状及び課題

現状：北陸3県で個々の観光データ収集・オープン化を推進しているが、インバウンドの実態把握が不十分、北陸3県一体のデータが不足しているなどの課題が浮かび上がりました。具体的には以下のとおりです。

（１）インバウンドの移動・消費に係る実態把握が不十分（２）北陸3県での一体的な観光振興に向けた基盤構築が必要（３）データを活用した官民での社会実装や人材育成が必要（４）能登半島地震からの復興が急務

実証事業の 目的

これらの課題を解決するために、北陸地域（富山県、石川県及び福井県）において共通したデータの取得及びマーケティング手法の検討・実践を通じ、旅行者の滞在時間や消費額の向上等、北陸地域で一体となったインバウンド観光の振興を促します。

中長期的に 目指す姿

本事業を達成することで、インバウンド観光を含めた以下のような観光産業全体の底上げや活性化につなげます。

- ・周遊観光の振興による滞在日数の増加、宿泊客数の増加→経済効果の拡大
- ・EBPMに基づく、効果的な行政施策や事業コンテンツ組成の推進
- ・北陸3県の観光振興を一元的に担う北陸DMOの設立(データ回りも一元化)
- ・北陸以外の地域とのデータ取得・活用等での連携→広域観光の促進
(北陸新幹線沿線→長野県／高速道路ネットワーク→中京地方)

地域が目指す姿(中長期)

中長期的に 目指す姿

ロード マップ

- ・ 周遊観光の振興による滞在日数の増加、宿泊客数の増加→経済効果の拡大
- ・ EBPMに基づく、効果的な行政施策や事業コンテンツ組成の推進
- ・ 北陸3県の観光振興を一元的に担う北陸DMOの設立(データ回りも一元化)
- ・ 北陸以外の地域とのデータ取得・活用等での連携→広域観光の促進
(北陸新幹線沿線→長野県／高速道路ネットワーク→中京地方)

2024年度

2025年度

2026年度

STEP1

北陸地域での実態把握、データ活用

観光DX



STEP2

- ・ 北陸地域での取組の推進
ブラッシュアップ
- ・ 近隣地域との連携しての
実態把握、データ活用
(長野・岐阜など)

観光ルート
実践など



一元的
把握・活用

STEP3

- ・ 北陸地域での取組の
深化・自律化
(北陸DMOの設立など)
- ・ 地域間連携の本格化
(観光ルートの
磨き上げなど)



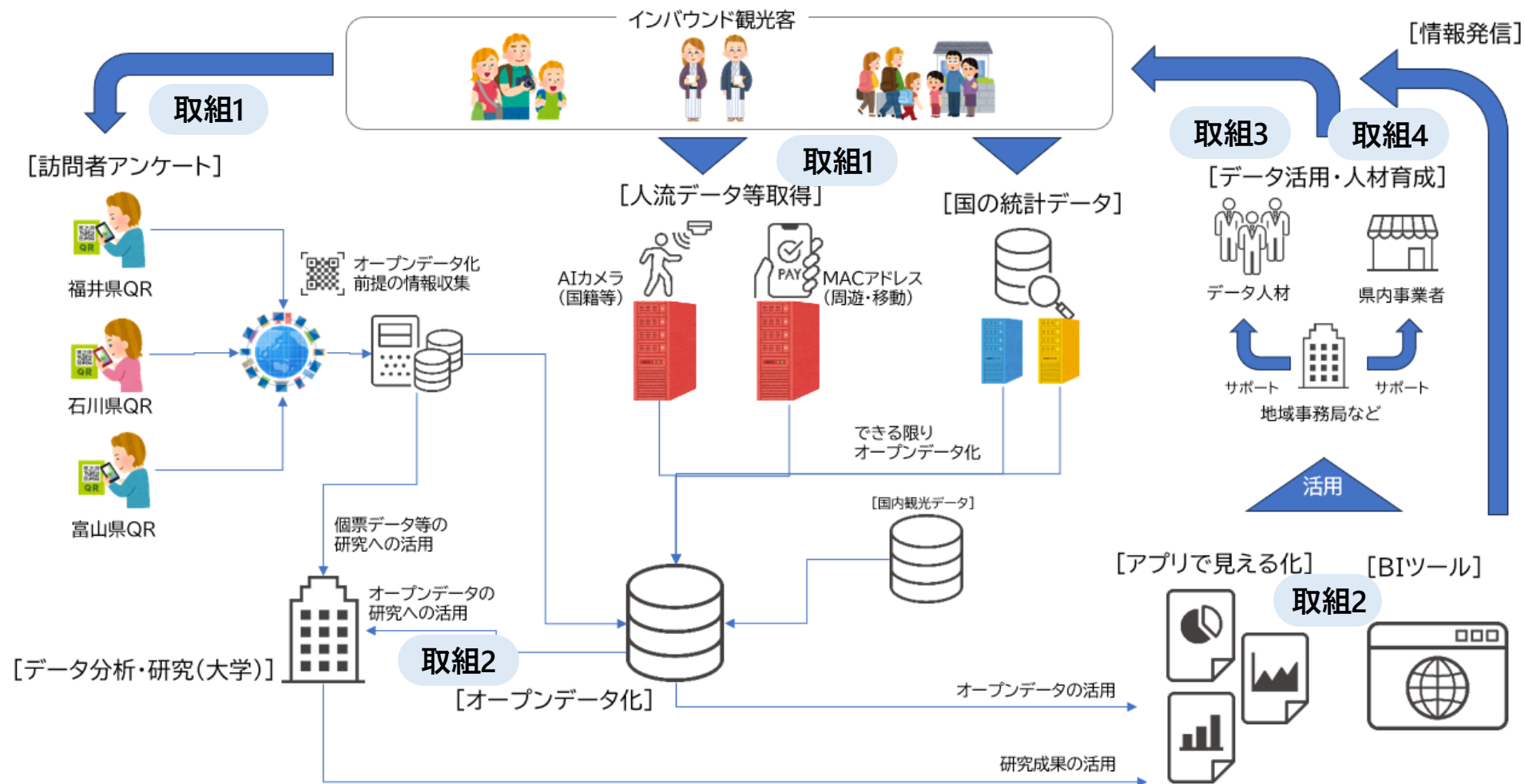
観光ルート
実践など

4.実証事業

4.実証事業

1.全体像

地域の目指す姿に向けて取り組む実証事業の全体像を示します。



4.実証事業

2.目標設定・取組内容

実証事業のゴールと目標値、実証事業の内容・概要・目標を設定します。

KGI

ゴール 北陸3県の事業者や行政等によるデータを活用した観光振興の基盤を構築する

目標値 北陸観光データポータル（TIF DATA）ユニークユーザー数 1000UU（累計）

取組

概要

目標

頁

取組1

インバウンド観光データの網羅的な収集・把握

北陸3県のインバウンド観光データを共通フォーマットで調査し、一元的に把握・分析

・MACアドレス関連情報による
動態データ取得(50か所以上)
・QRアンケートの有効回答数
(10,000以上)

P.14

取組2

KPI

オープンデータ化、見える化、
BIツール化等の推進

本事業のインバウンド関連データをオープンデータ化し、事業者や行政が協働利用できるよう可視化

データセット数（4つ以上）

P.15

取組3

データの社会実装及び必要な環境の整備

取組1・2の成果を活用し、北陸三県での観光振興・インバウンド対策を強化する具体的取組を生み出す

合意形成のための
協議・会議を月1回以上実施

P.16

取組4

データリテラシーの高い人材の育成

本実証事業で取得したデータを活用し、勉強会やハッカソンを開催

データ活用に参画した事業者数
(3県で20以上)

P.17

実施体制・役割分担

■事務局

<代表機関>

金沢大学先端観光科学研究所

- ・ 堤 敦朗 教授(所長)
- ・ 佐無田 光 教授(副所長)
- ・ 今 洋佑 特任准教授(事業統括)
- ・ 藤生 慎 准教授(調査研究企画)
- ・ 森崎 裕磨 助教(調査研究企画)
- ・ 事業推進マネージャー(1名:総括)
- ・ 事務職員(3名:総括補助)

<アドバイザー>

- ・ ふくいヒトモノデザイン株式会社
- ・ 福井県観光連盟(佐竹Mgr)

<有識者会議>

- ・ 3県の有識者、北経連から参画

■データ収集・成果活用

富山県事務局

株式会社北陸銀行

石川県事務局

株式会社CCイノベーション

福井県事務局

株式会社福井銀行
ふくいヒトモノデザイン
株式会社

<サポート>

富山県
とやま観光推進機構

<サポート>

石川県・石川県観光連盟

<サポート>

福井県・福井県観光連盟

■システム構築

<コーディネーション>

- ・ B Inc.

<オープンデータ化・活用推進>
・各エリアのシビックテック団体

<BIツール開発・活用>

- ・ 株式会社地域創生
Coデザイン研究所

■研究・教育

富山大学
福井大学
金沢大学

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組1.インバウンド観光データの網羅的な収集・把握（①WiFiパケットセンサ（M5カプセル）の設置）

■ システム開発

● コンセプト・機能概要

Wi-Fiパケットセンシングに基づく人流計測を実施。

・非接触センシング機器(M5カプセル)にプログラムを組み込み、半径15m以内を通過した人のハッシュ化された携帯電話識別情報を取得する方法を用います。

・北陸3県79か所に設置し、9月下旬から12月下旬にかけてデータを計測します。

・金沢大学・森崎助教が設置した全非接触センシング機器のデータをまとめ、交通計画学で確立されている手法を用いてインバウンド旅行者を推計します。

● システム構成



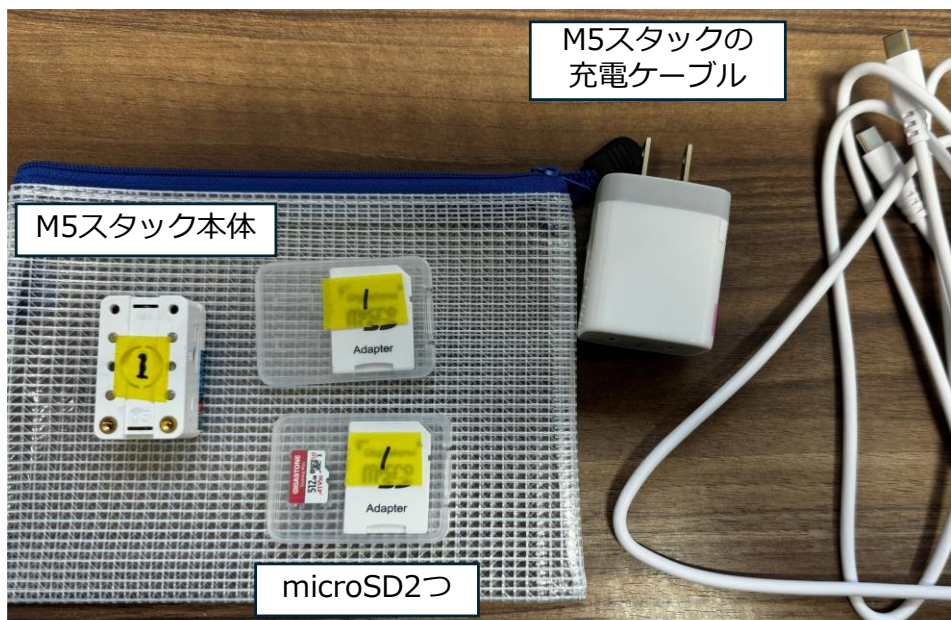
金沢大学の藤生・森崎研究室にて分析、データ成形

	awara	eihei	fukui	kaga	kanazawa	kurobe	noto	takaoka	tannan	tateyama	tonami	toyama	wakasa
awara		11	16	17	46	3	3	8	5	0	2	12	11
eihei	26		30	48	86	5	2	22	21	0	2	17	18
fukui	11	22		33	212	1	7	36	17	0	7	38	19
kaga	17	37	38		360	11	36	73	35	3	2	89	34
kanazawa	40	84	232	390		58	37	351	133	16	46	502	100
kurobe	0	4	6	14	61		0	16	3	2	0	26	8
noto	1	3	7	29	43	3		6	3	1	0	10	4
takaoka	15	15	24	69	343	17	9		14	5	14	104	21
tannan	8	19	9	34	173	4	7	35		1	7	30	16
tateyama	0	1	1	3	23	0	0	7	1		0	10	1
tonami	1	0	2	8	57	0	1	10	9	0		10	3
toyama	18	23	47	108	554	31	12	142	18	15	7		38
wakasa	9	14	12	36	92	6	4	23	15	2	1	31	

図：エリア別流動量の集計結果の一例（OD表）
縦軸は出発エリア、横軸は到着エリアを表し、
エリア間の流動量が把握できます。

Wi-Fiパケットセンシングに基づく人流計測

- ❁ Wi-Fiパケットセンシングに基づく人流計測を実施.
- ❁ M5カプセルを北陸3県79か所に設置. (2024年9月24日～12月9日)
- ❁ ハッシュ化された携帯電話識別情報をもとに人流を把握.
- ❁ 確率論的にインバウンド観光客を推計.
- ❁ 取得サンプル数: **8,217名** (訪日外国人旅行者)
- ❁ 取得データ件数: **489,851件**



M5カプセル設置時のセット



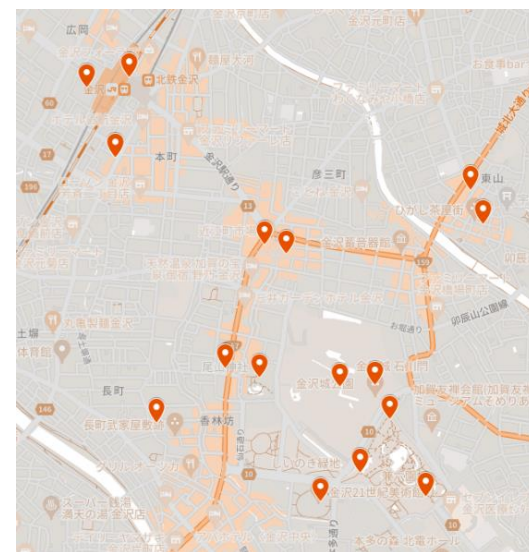
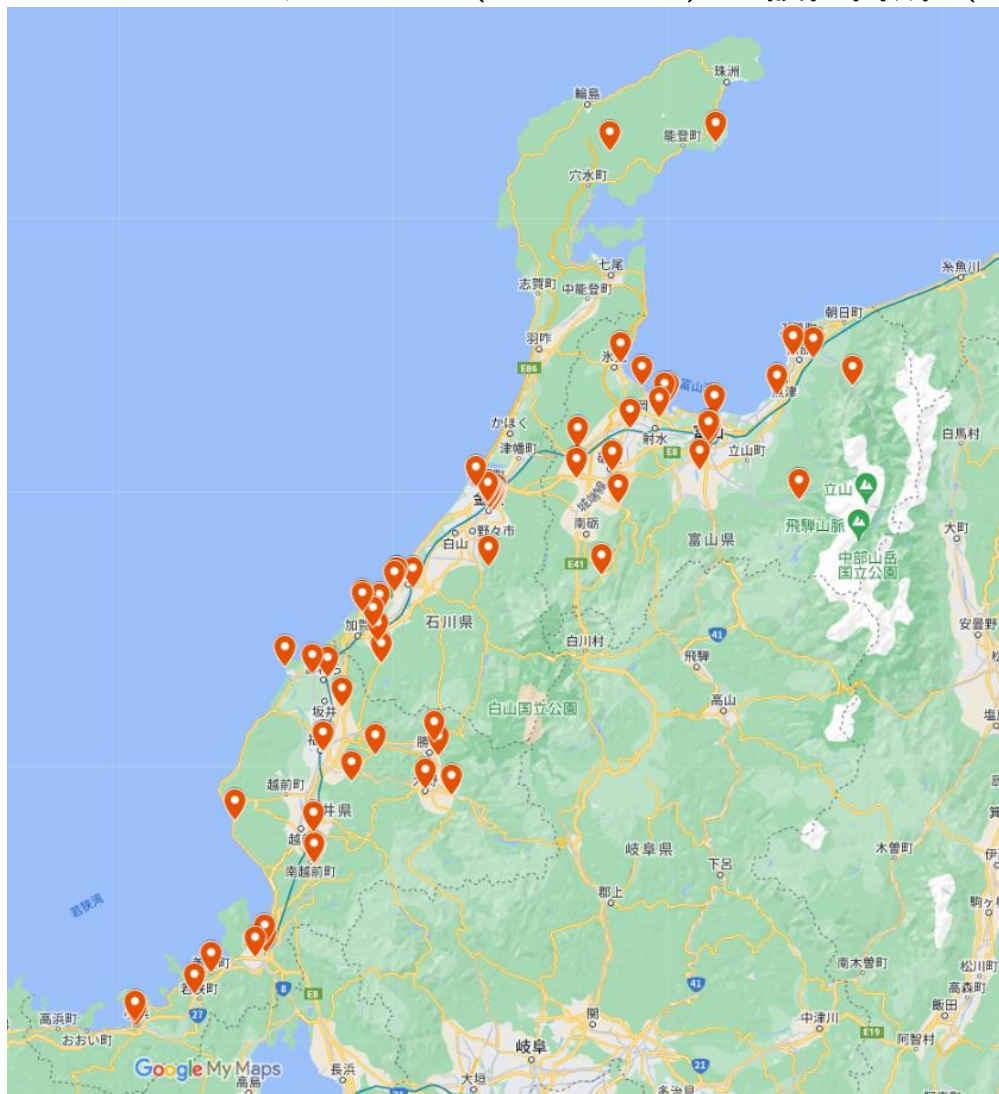
M5カプセル本体

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組1.インバウンド観光データの網羅的な収集・把握（①WiFiパケットセンサ（M5カプセル）の設置）

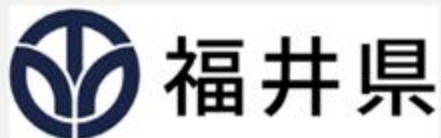
WiFiパケットセンサ（M5カプセル）の設置箇所（79箇所）



金沢市中心部



永平寺



"DAIHONZAN-EIHEIJI"
A TEMPLE ALIVE
WITH REAL ZEN MONASTIC PRACTICE

"Fukui Prefectural Dinosaur Museum"



賀
井
敦
日
さ
か
な
街



"Nakanishi Sakanamachi"



福井県立
恐竜博物館

黒部月温泉駅



"Kurobe-Unazukionsen"



"Masu no Sushi "Gen"Store in front of the central ticket gate"



富山駅

ますの寿司「源」
中央改札前売店

富山空港
国内線案内所



"Toyama Airport Domestic Information Center"



金沢城公園 金沢城総合案内所



"Kanazawa Castle Park"

"Kanazawa Castle General Information Center"



"21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa"



金沢 21世紀美術館

金沢駅 観光案内所

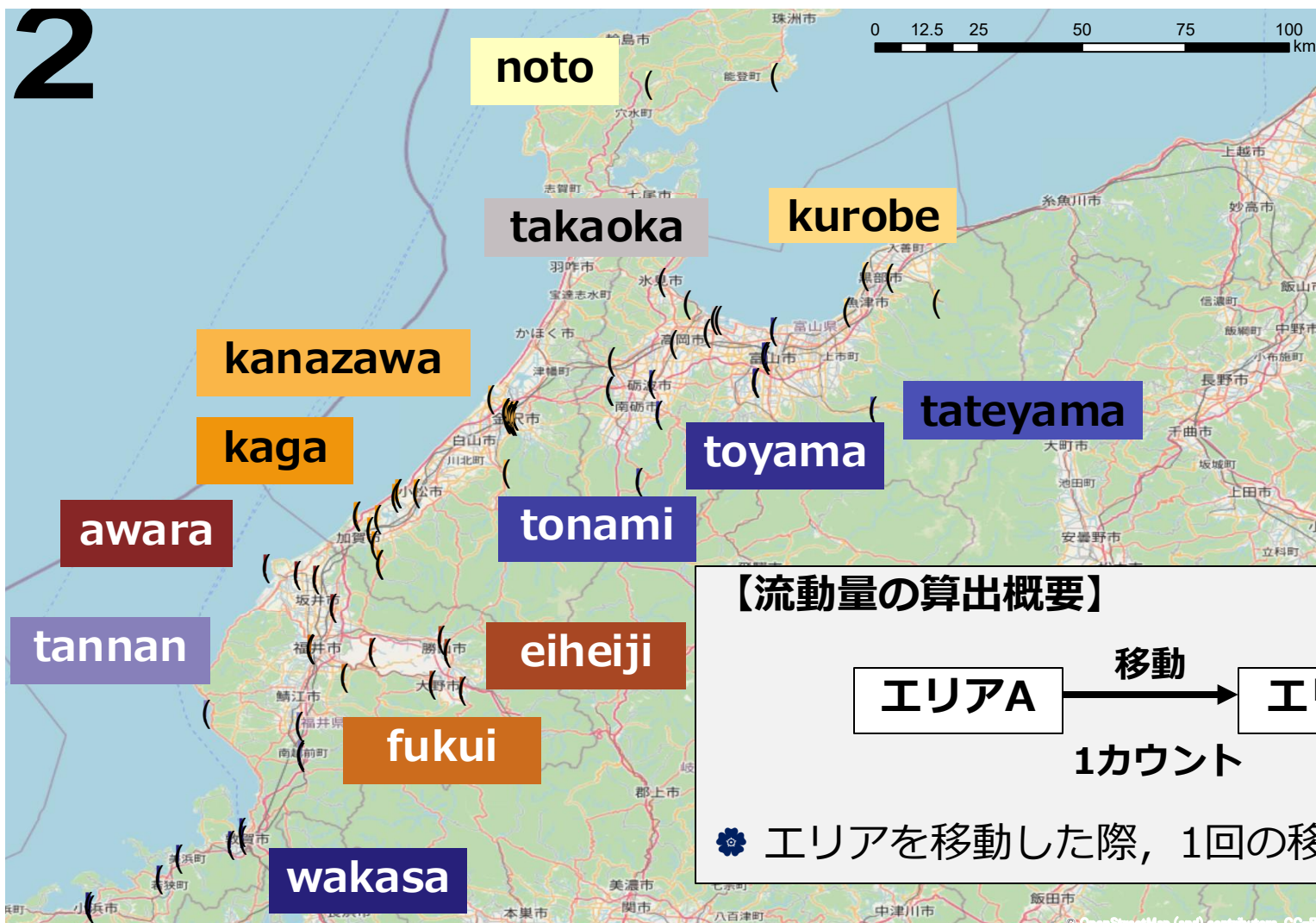


"Kanazawa Central Tourist Information Center"

流動に着目した分析の概要：ゾーニング

❁ M5カプセルの設置地点79か所を**13エリア**に分割.

2



流動に着目した分析結果：全期間流動量（回）

2024年9月24日～12月9日の人口流動（回）をエリア別に集計。

エリアを越えた流動に着目。

到着エリア

	awara	eiheiji	fukui	kaga	kana zawa	kurobe	noto	taka oka	tannan	tate yama	tonami	toyama	wakasa
awara		11	16	17	46	3	3	8	5	0	2	12	11
eiheiji	26		30	48	86	5	2	22	21	0	2	17	18
fukui	11	22		33	212	1	7	36	17	0	7	38	19
kaga	17	37	38		360	11	36	73	35	3	2	89	34
kanazawa	40	84	232	390		58	37	351	133	16	46	502	100
kurobe	0	4	6	14	61		0	16	3	2	0	26	8
noto	1	3	7	29	43	3		6	3	1	0	10	4
takaoka	15	15	24	69	343	17	9		14	5	14	104	21
tannan	8	19	9	34	173	4	7	35		1	7	30	16
tateyama	0	1	1	3	23	0	0	7	1		0	10	1
tonami	1	0	2	8	57	0	1	10	9	0		10	3
toyama	18	23	47	108	554	31	12	142	18	15	7		38
wakasa	9	14	12	36	92	6	4	23	15	2	1	31	

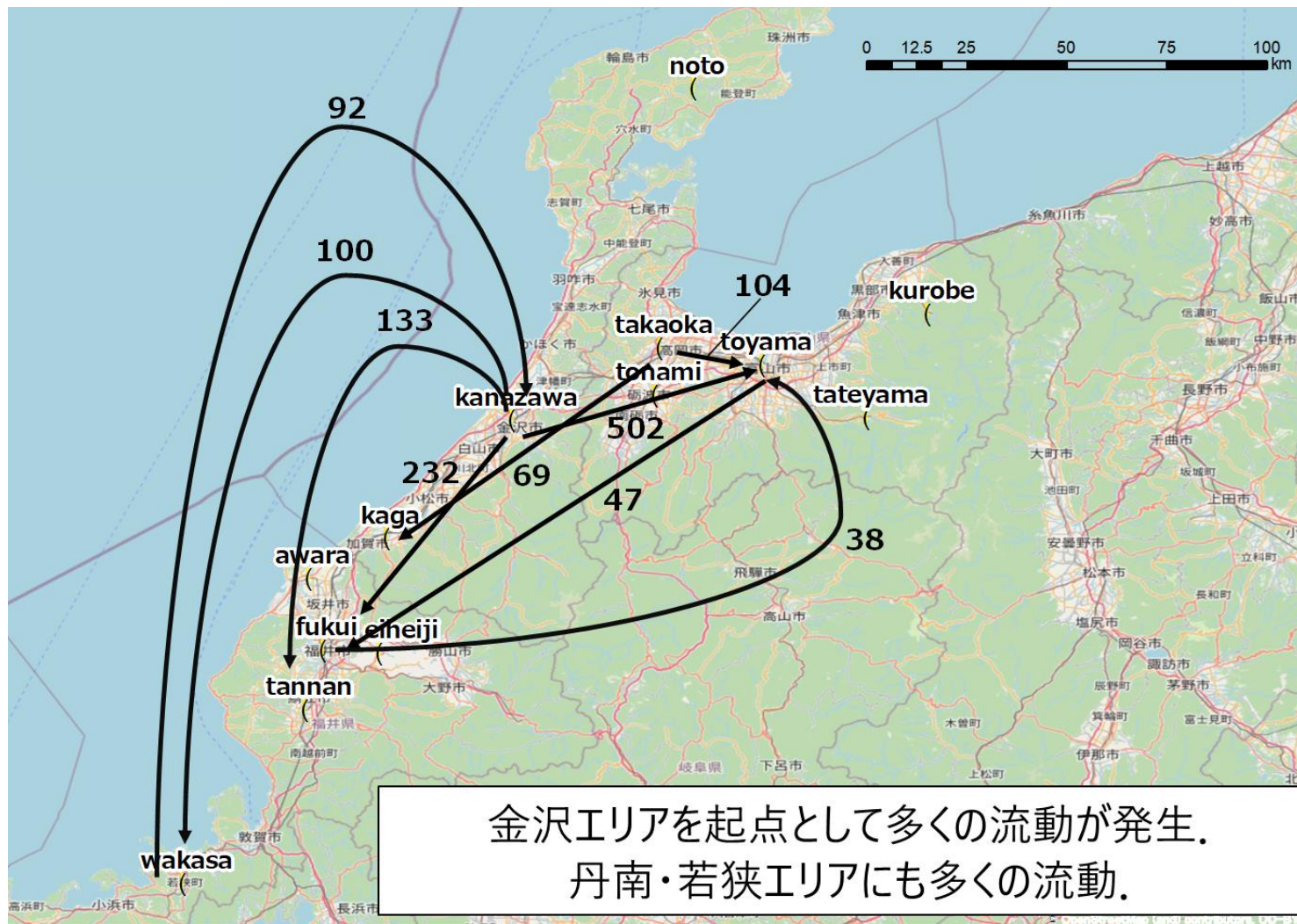
出発エリア

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組1.インバウンド観光データの網羅的な収集・把握

■ まとめ（M5カプセルでの成果例 ①全期間流動量の見える化）



流動に着目した分析結果：8～15時台の流動量

- 8～15時台に分割し，流動量（回）を算出.
- エリア・流動時間帯に着目.

到着エリア

	awara	eiheiji	fukui	kaga	kanazawa	kurobe	noto	takaoka	tannan	tateyama	tonami	toyama	wakasa
awara		11	7	9	34	1	2	5	4	0	2	6	6
eiheiji	23		18	23	76	8	4	11	12	1	1	11	10
fukui	7	21		10	110	0	3	10	6	0	5	10	9
kaga	10	23	13		172	7	25	39	15	1	3	37	11
kanazawa	31	61	107	210		30	30	218	66	15	41	189	65
kurobe	0	4	5	10	39		0	11	2	2	2	12	4
noto	0	0	5	24	27	0		5	2	1	0	6	2
takaoka	7	11	12	42	215	11	5		11	1	10	56	13
tannan	6	10	3	11	102	1	4	21		1	5	8	9
tateyama	0	1	0	0	19	0	0	5	1		0	5	1
tonami	1	0	1	8	43	0	0	11	4	0		7	3
toyama	8	13	20	52	240	23	10	81	9	8	6		16
wakasa	4	14	6	13	62	4	2	15	7	1	1	16	

流動に着目した分析結果：16～23時台の流動量

❁ 16～23時台に分割し，流動量（回）を算出．

❁ 8時～15時台と比較し，流動量（回）が減少．

到着エリア

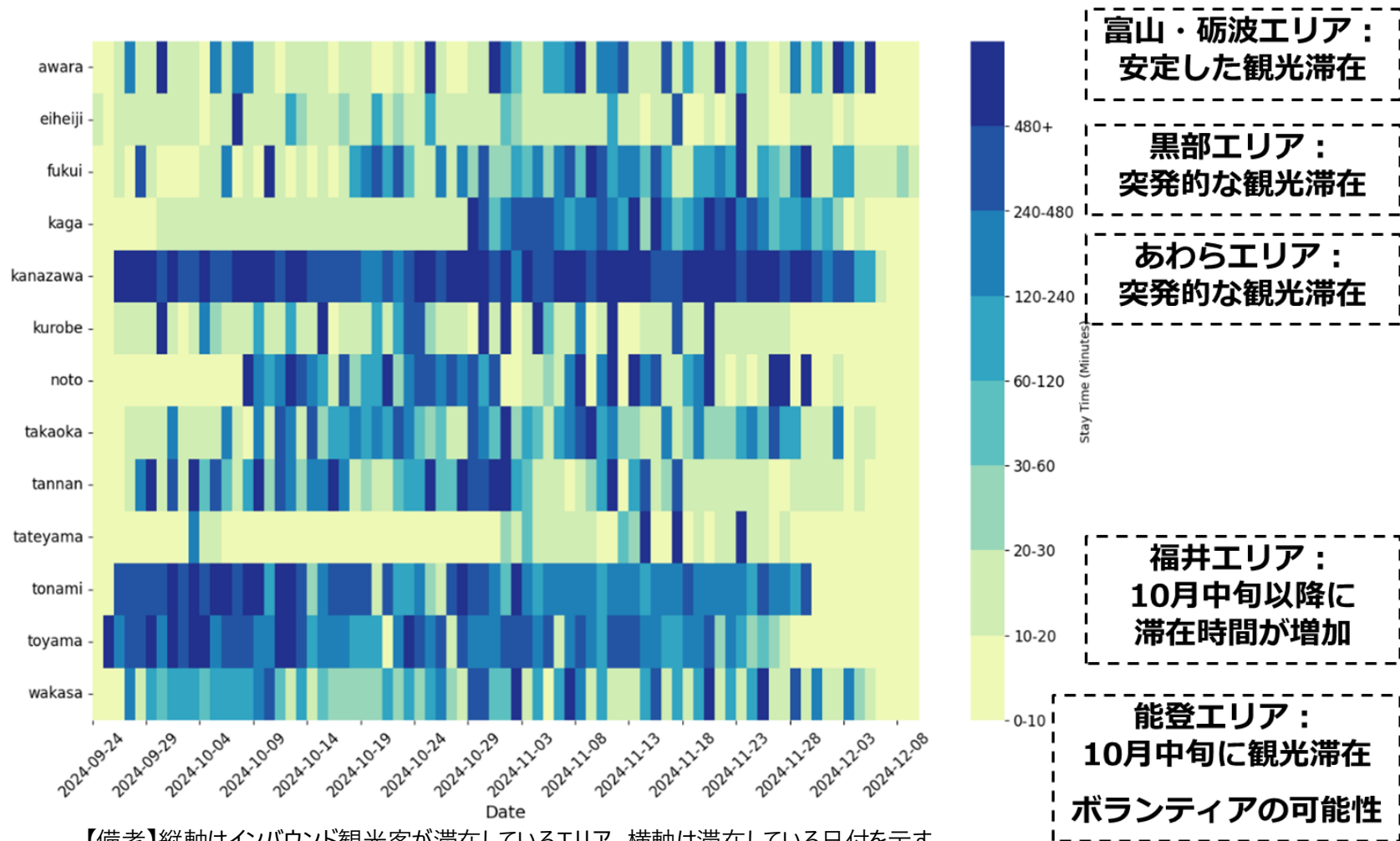
	awara	eiheiji	fukui	kaga	kana zawa	kurobe	noto	taka oka	tannan	tate yama	tonami	toyama	wakasa
awara		0	4	5	5	1	0	1	0	0	0	4	2
eiheiji	0		4	8	6	1	0	3	2	0	0	1	3
fukui	3	0		7	34	0	3	6	5	0	0	15	4
kaga	5	4	11		77	1	8	13	7	1	0	24	10
kanazawa	8	2	39	79		12	4	41	29	1	1	111	18
kurobe	0	0	0	4	10		1	3	1	0	0	10	1
noto	0	0	2	8	6	0		2	0	0	0	2	0
takaoka	3	0	4	13	49	4	0		2	0	1	14	2
tannan	0	7	2	7	41	1	1	2		0	1	13	0
tateyama	0	0	0	2	1	0	0	0	0		0	1	0
tonami	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0		0	0
toyama	4	4	13	24	157	6	1	27	10	1	0		9
wakasa	2	2	2	8	18	3	1	5	2	0	0	8	

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組1.インバウンド観光データの網羅的な収集・把握

■ まとめ（M5カプセルでの成果例 ②時間帯別・エリア内の平均滞在時間）



【備考】縦軸はインバウンド観光客が滞在しているエリア、横軸は滞在している日付を示す。
色が濃いほど滞在時間が長い。

M5カプセルに基づく人流解析のまとめ

【まとめ】

- ❁ M5カプセルを北陸3県79か所に設置しインバウンド観光客の人流を計測.
- ❁ 設置地点から約15m以内のハッシュ化された携帯電話識別情報を取得.
(設置地点A→設置地点Bの流動を計測可能)
- ❁ 金沢エリア・福井エリア・富山エリアの主要地点を起点に各地に流動が発生.
時間別の流動・滞在時間を算出可能.
- ❁ 金沢エリア→若狭エリアの広域観光も確認. (100名の移動)
- ❁ 能登エリアへの移動も確認.
- ❁ 時間別・エリア別滞在時間の算出により, 滞在(観光)時間の増減が明らかに.
- ❁ インバウンド観光客の観光流動クラスタリングにより, 観光エリアの類型化が実現.

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組1.インバウンド観光データの網羅的な収集・把握（②QRコードアンケートによる行動データ取得）

■ システム開発

● コンセプト・機能概要

3県（富山県・石川県・福井県）内の観光施設159箇所以上に設置した告知物から、外国人旅行者がスマートフォンのカメラでQRコードを読み取ります。言語を選択し、キャンペーンの説明画面で「回答する」ボタンを押し次のページへ遷移します。

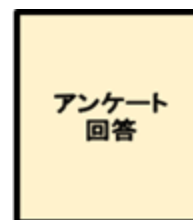
ログイン画面が表示の「初めての方はこちら」ボタンから仮会員登録（メールアドレス入力を入力し「確認する」ボタンを押下）を行います。

仮登録メール本文のURLからアンケート画面に遷移しアンケートを回答します。（※2箇所目以降は、登録したメールアドレスでログインし、アンケートに回答。）

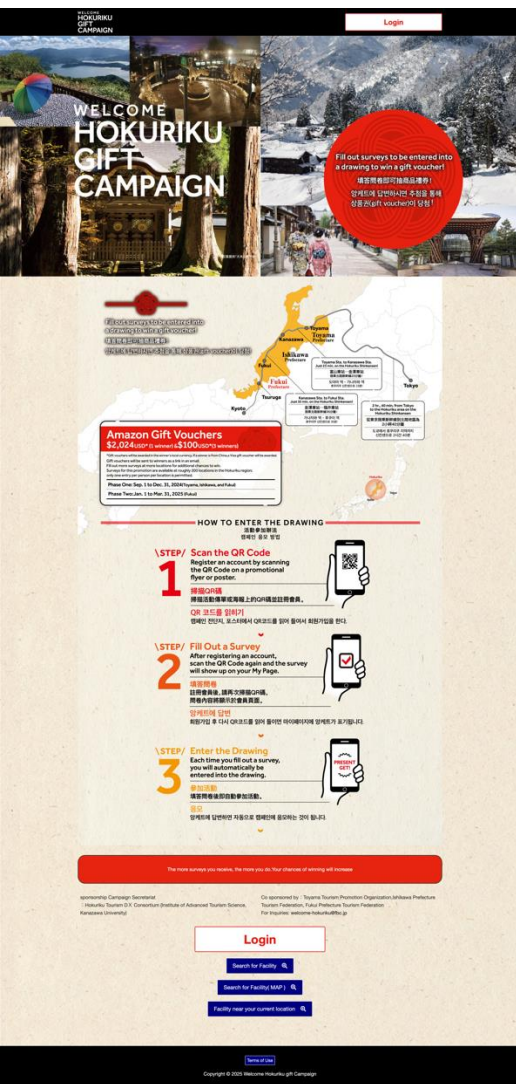
● システム構成



QRコード
読み取り



※URL : <https://welcome-hokuriku.jp/>



目的 北陸エリアの訪日外国人の実態把握

■キャンペーンタイトル

Welcome Hokuriku gift Campaign

URL : welcome-hokuriku.jp

■キャンペーン期間

Vol.1 2024年9月1日～2024年12月31日

(Vol.2 2025年1月1日～2025年 3月31日)

※福井県内のみ継続で、独自の予算で展開

■キャンペーン主催

主催：北陸観光DXコンソーシアム（金沢大学先端観光科学研究所）

共催：富山県、石川県、福井県

とやま観光推進機構、石川県観光連盟、福井県観光連盟

■キャンペーン事務局

北陸観光DXコンソーシアム（金沢大学先端観光科学研究所）

※FBC福井放送に委託

アンケート内容

設問番号	段階ごとの分類	設問のカテゴリー	必須/ 任意	設問文章
1	①基本情報	年齢	必須	あなたの生まれた年を教えてください。
2	①基本情報	性別	必須	あなたの性別を教えてください。
3	①基本情報	国籍（出身国）	必須	あなたの国籍・地域を教えてください。
4	①基本情報	世帯年収	必須	あなたの世帯年収を教えてください。
5	②今回の旅行またはお出かけの全工程について	日本への旅行目的	必須	今回の主な訪日目的は何ですか？
6	②今回の旅行またはお出かけの全工程について	同行者	必須	今回の訪日はどなたといらっしゃいましたか？
7	②今回の旅行またはお出かけの全工程について	日本での滞在日数	必須	今回、日本には何日滞在しますか。
8	②今回の旅行またはお出かけの全工程について	日本での滞在予算	必須	今回の旅行（日本構内での滞在中）の総予算（旅の総予算）はいくらぐらいでしょうか？（1人あたり）
9	②今回の旅行またはお出かけの全工程について	日本での滞在予算	必須	今回の旅行（日本構内での滞在中）の宿泊予算はいくらぐらいでしょうか？（1人あたり）
10	②今回の旅行またはお出かけの全工程について	情報収集手段	必須	日本の旅行情報を得るうえで、出発前に役立ったと感じたものを選んでください。（複数選択可）
11	②今回の旅行またはお出かけの全工程について	訪問回数	必須	今までの訪日回数は？（今回の訪日を含む）
12	③ご訪問された〇〇〇〇について	目的（何に魅かれて来	必須	今回、今いらっしゃる 〇〇エリア（〇〇県）を訪問した目的を教えてください。（複数選択可）
13	③ご訪問された〇〇〇〇について	目的（何に魅かれて来	必須	今回、〇〇を訪問した理由を教えてください。（複数選択可） ※注 〇〇はQRコードを読み込んだ施設名が出てきます。
14	③ご訪問された〇〇〇〇について	満足度	必須	〇〇を訪問した満足度はいかがでしたか？ ※注 〇〇はQRコードを読み込んだ施設名が出てきます。
15	③ご訪問された〇〇〇〇について	満足度	任意	〇〇の満足度とその理由について、ご自由にご意見をお聞かせください。
16	③ご訪問された〇〇〇〇について	消費額	必須	今回の〇〇では、どのぐらいお金を消費しましたか？（予定も含めて、1人あたり）
17	③ご訪問された〇〇〇〇について	交通手段	必須	今回の〇〇への交通手段は何ですか？（複数選択可）
18	③ご訪問された〇〇〇〇について	情報収集手段	必須	〇〇〇〇をどうやって知りましたか。 旅行先を検討された際、情報収集に使用した媒体および決め手
19	③ご訪問された〇〇〇〇について	推奨意向（NPS）	必須	〇〇〇〇へのお出かけを、どのくらい家族や友人に薦めたいと思いますか。0（全く薦めたくない）～10（ぜひ薦めたい）でお答え
20	③ご訪問された〇〇〇〇について	推奨項目	任意	今回の旅行またはお出かけにおいて、特に人に薦めたいと感じたものとその理由について、具体的に教えてください。

①

← 最初の時に
①②全アンケート

②

← 2箇所目以降は②だけ

アンケートデータのオープンデータ化



北陸3県内 **159**か所に、
ユニークなQRコードを設置
アンケートに答えてくれたら、
抽選でプレゼントをするキャンペーン展開



アンケート収集数
806件

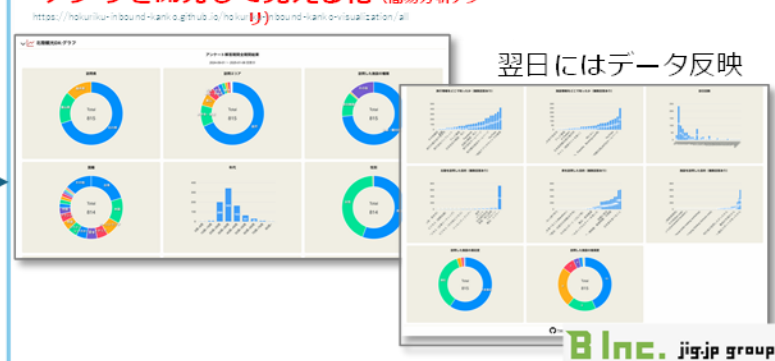
アンケートデータ

- 各県事務局
- 【富山県】 北陸銀行
 - 【石川県】 CCI Innovation
 - 【福井県】 ふくいヒトモノデザイン株式会社

GitHub上に
オープンデータ
化



アプリを開発して見える化 (触易分析アプリ)



分析ツール

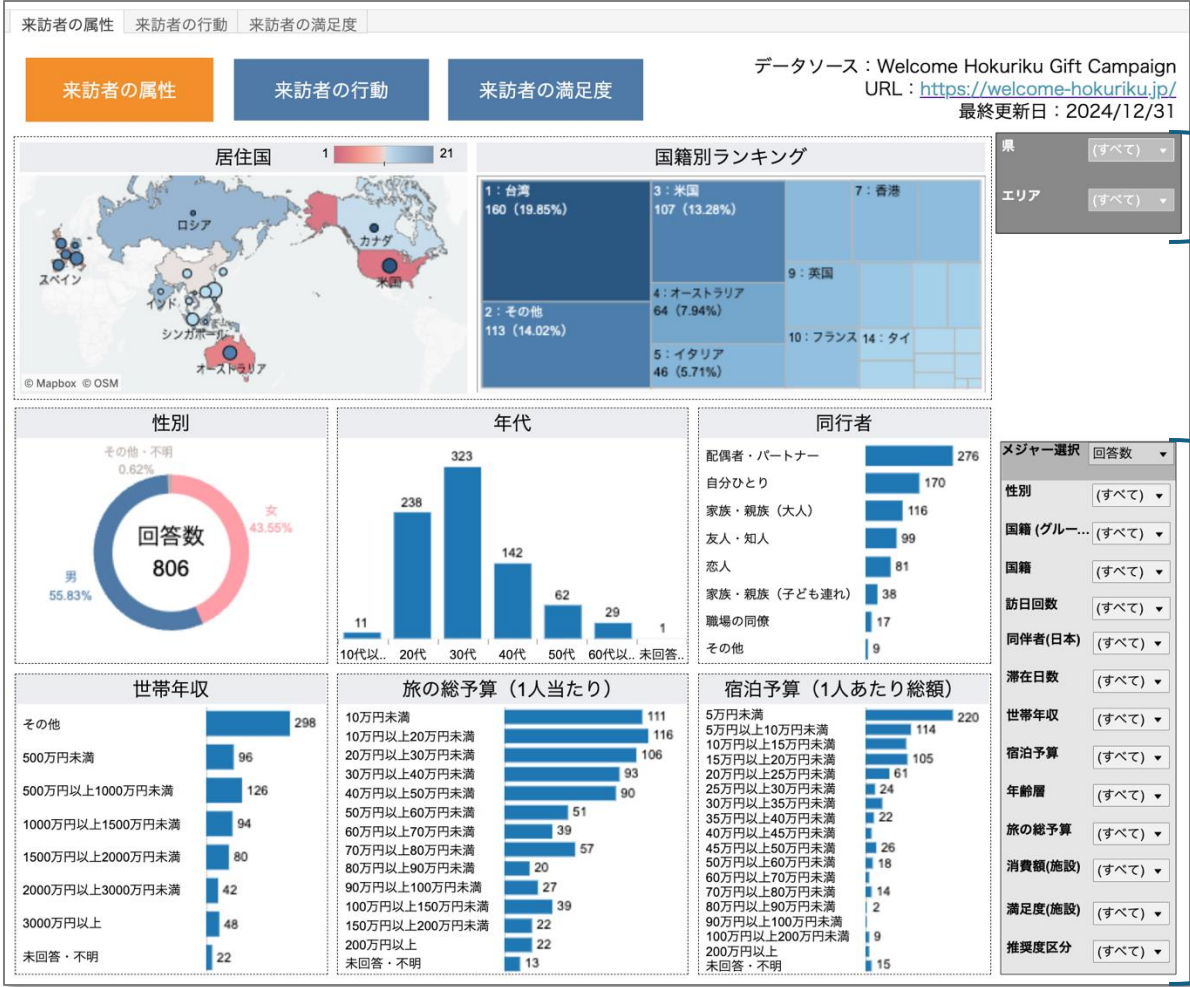


北陸観光データポータル
TIFDATE

<https://tifdata.jp/>

	富山県	石川県	福井県	合計
QRコード設置施設数	53か所	61か所	45か所	159か所
エリア	富山 高岡・氷見・射水 黒部・宇奈月 砺波・五箇山 立山	金沢 加賀 能登	あわら・坂井 福井 永平寺・奥越 丹南 若狭路	13エリア
回答数	135件	569件	136件	840件

北陸DXアンケート_公開ダッシュボード

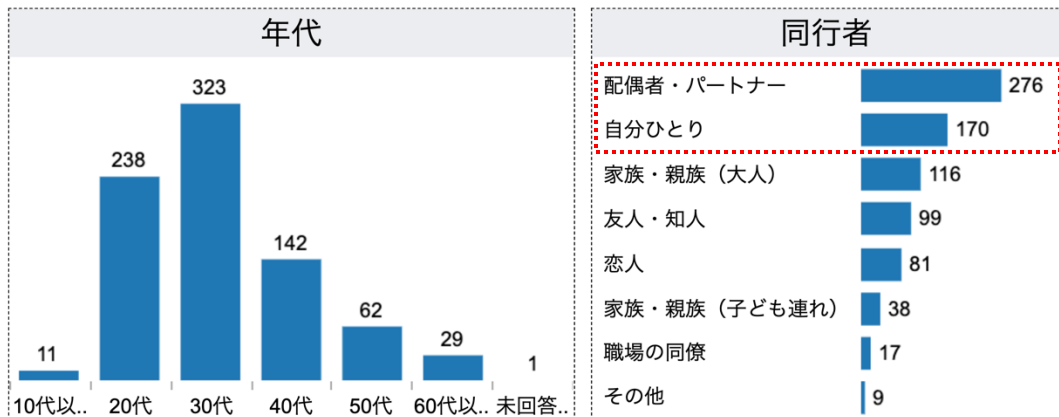


県やエリアの選択可能

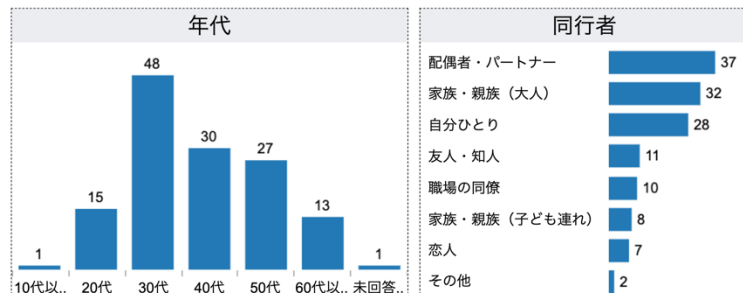
アンケート内容で選択可能

来訪者の属性 年代・同行者

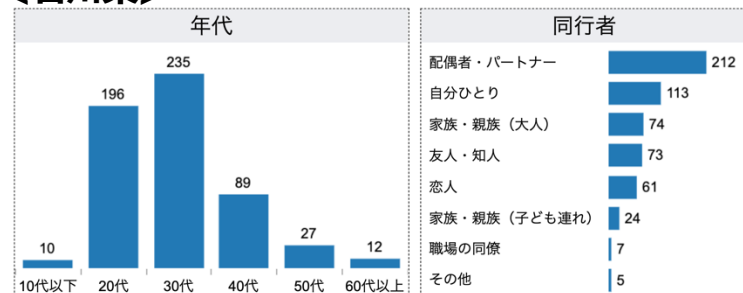
〔北陸3県〕



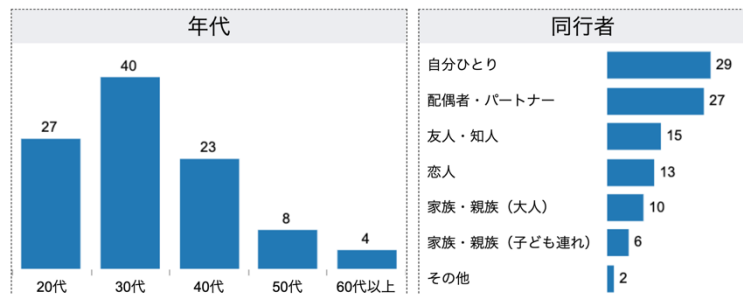
〔富山県〕



〔石川県〕



〔福井県〕



- ・ 富山県 年代が高め
- ・ 石川県 配偶者・パートナーの割合が多い
- ・ 福井県 ひとり旅の割合が多い

来訪者の属性

同行者と国籍別

☐ (すべて)

☐ その他

☐ 家族・親族（子ども連れ）

☐ 家族・親族（大人）

☐ 自分ひとり

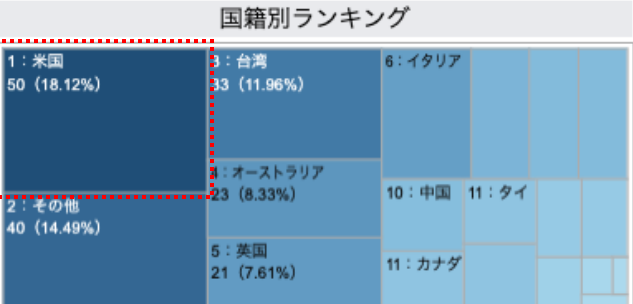
☐ 職場の同僚

☒ 配偶者・パートナー

☐ 友人・知人

☐ 恋人

キャンセル適用



☐ (すべて)

☐ その他

☐ 家族・親族（子ども連れ）

☐ 家族・親族（大人）

☐ 自分ひとり

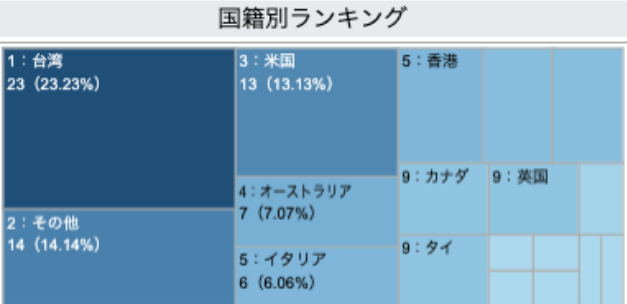
☐ 職場の同僚

☐ 配偶者・パートナー

☒ 友人・知人

☐ 恋人

キャンセル適用



☐ (すべて)

☐ その他

☐ 家族・親族（子ども連れ）

☐ 家族・親族（大人）

☒ 自分ひとり

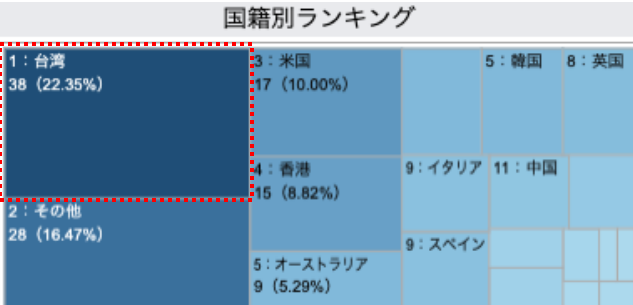
☐ 職場の同僚

☐ 配偶者・パートナー

☐ 友人・知人

☐ 恋人

キャンセル適用



☐ (すべて)

☐ その他

☐ 家族・親族（子ども連れ）

☐ 家族・親族（大人）

☐ 自分ひとり

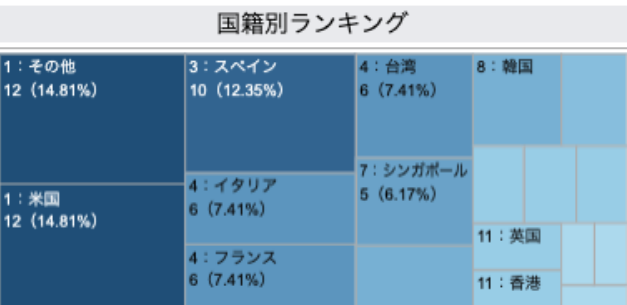
☐ 職場の同僚

☐ 配偶者・パートナー

☐ 友人・知人

☒ 恋人

キャンセル適用



☐ (すべて)

☐ その他

☐ 家族・親族（子ども連れ）

☒ 家族・親族（大人）

☐ 自分ひとり

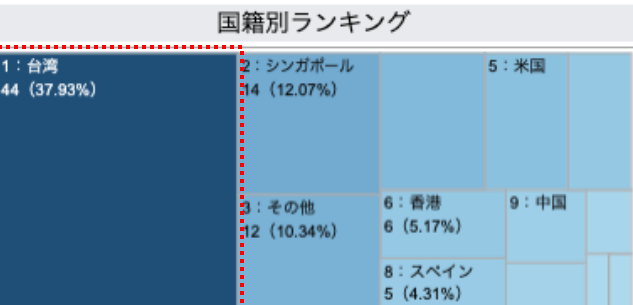
☐ 職場の同僚

☐ 配偶者・パートナー

☐ 友人・知人

☐ 恋人

キャンセル適用



☐ (すべて)

☐ その他

☒ 家族・親族（子ども連れ）

☐ 家族・親族（大人）

☐ 自分ひとり

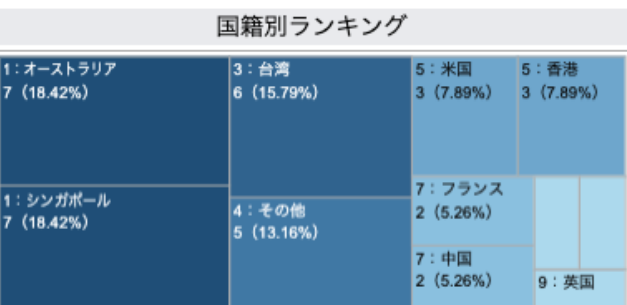
☐ 職場の同僚

☐ 配偶者・パートナー

☐ 友人・知人

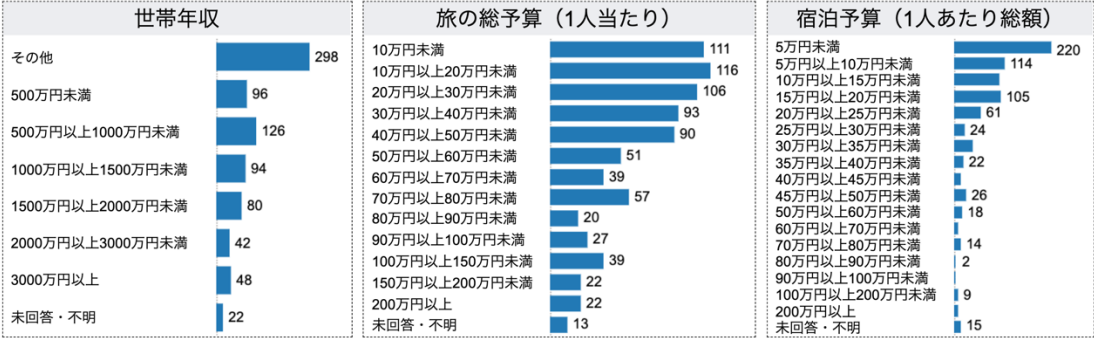
☐ 恋人

キャンセル適用



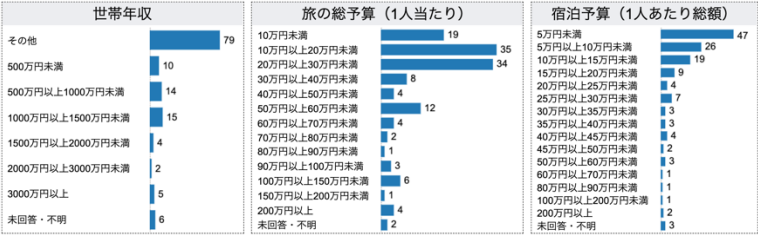
来訪者の属性

〔北陸3県〕

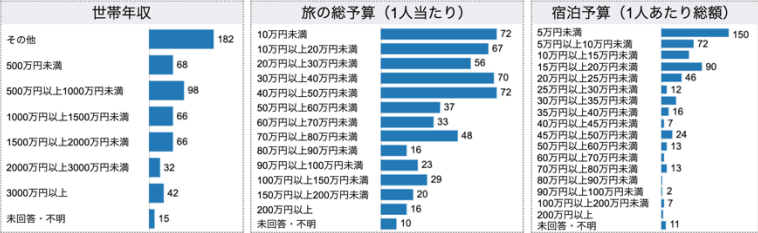


世帯年収・旅の総予算（1人あたり）・宿泊予算（1人あたり総額）

〔富山県〕

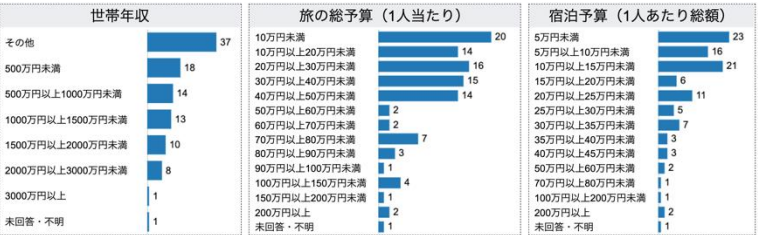


〔石川県〕



- ・富山県
- ・石川県 旅の予算が高め
- ・福井県

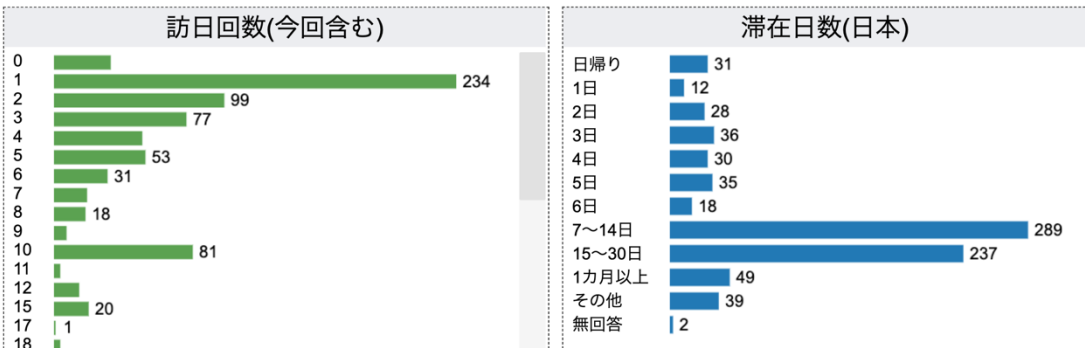
〔福井県〕



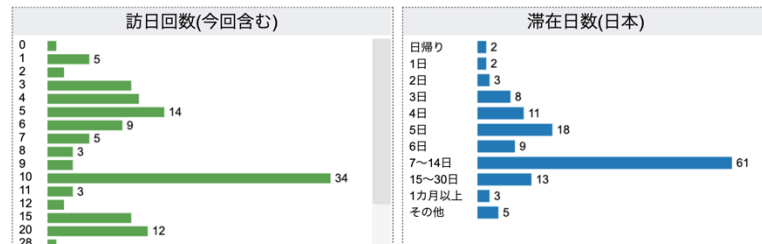
※台湾の人たちの世帯年収の記入の殆どが0円などで、その他に分類

来訪者の行動 訪日回数・滞在日数

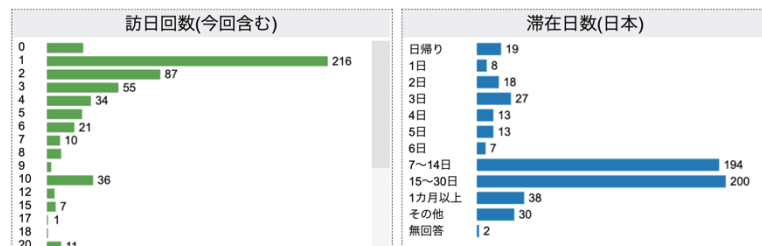
〔北陸3県〕



〔富山県〕

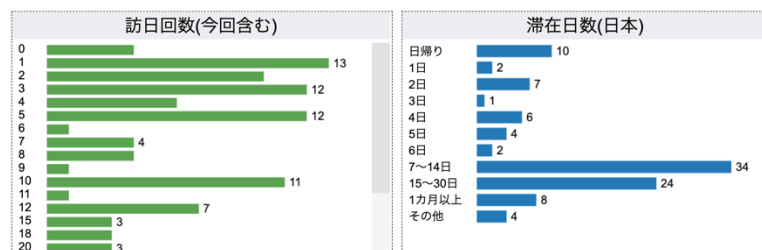


〔石川県〕



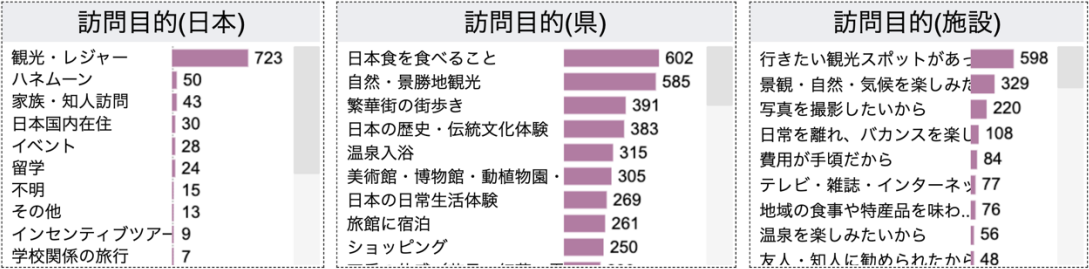
- ・ 富山県 初めての訪日は少ない
- ・ 石川県 初めての訪日の割合が多い（38%）
- ・ 福井県 ー

〔福井県〕

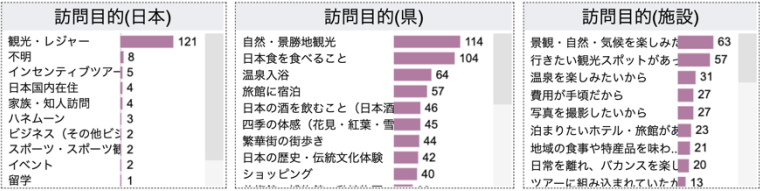


来訪者の行動 訪問目的（日本・県・施設）

〔北陸3県〕



〔富山県〕

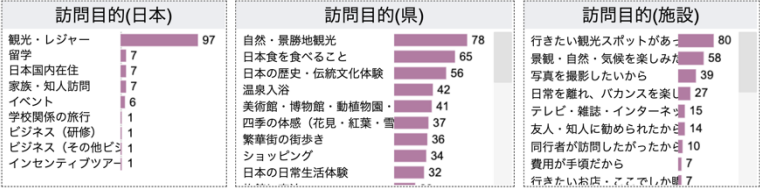


〔石川県〕



- ・ 富山県 自然・景勝地観光の目的が多い
- ・ 石川県 日本食を食べる目的が1番
- ・ 福井県 日本の歴史・伝統文化体験目的が多め

〔福井県〕



4.実証事業

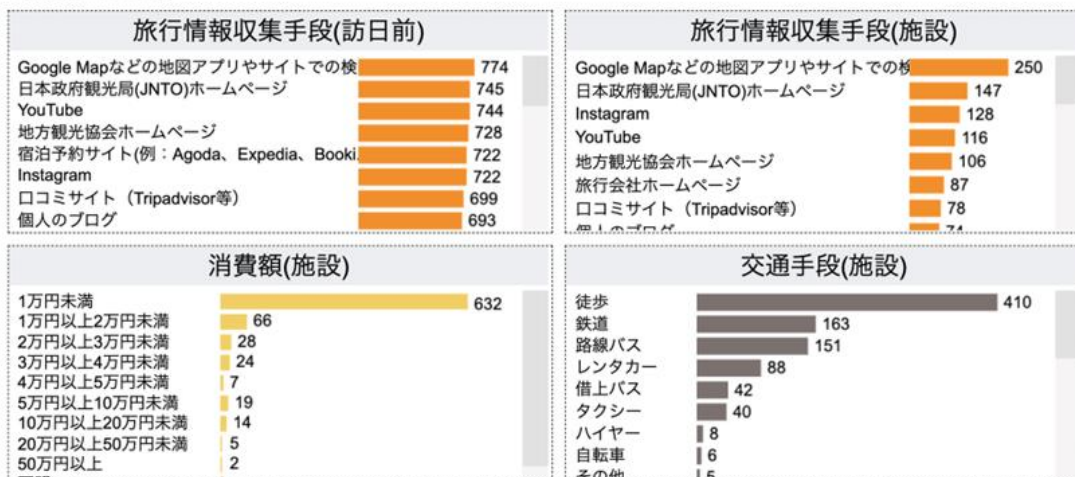
3.各取組の詳細

取組1.インバウンド観光データの網羅的な収集・把握

■ まとめ（アンケート調査での成果例 ①来訪者の行動分析）

来訪者の行動 情報収集手段・消費額・交通手段

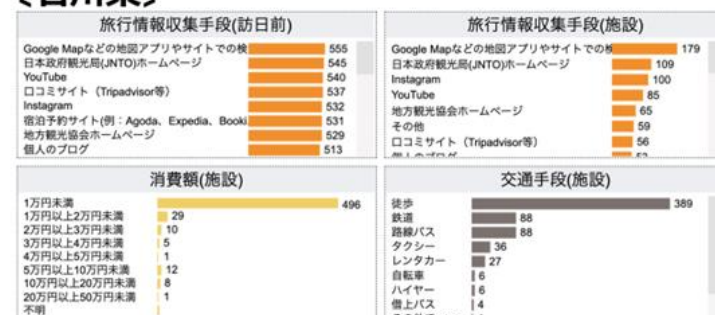
〔北陸3県〕



〔富山県〕



〔石川県〕



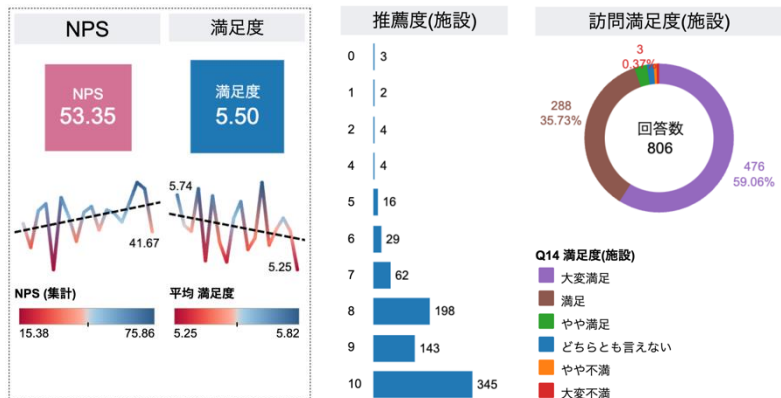
〔福井県〕



- ・ 富山県 鉄道
- ・ 石川県 徒歩
- ・ 福井県 路線バス

来訪者の行動 満足度・推奨意向

〔北陸3県〕

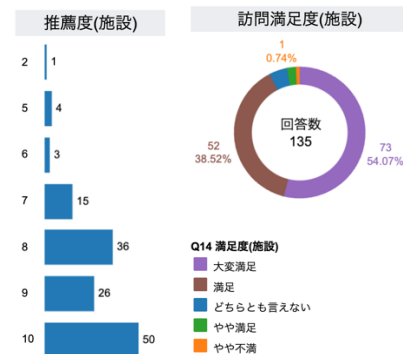
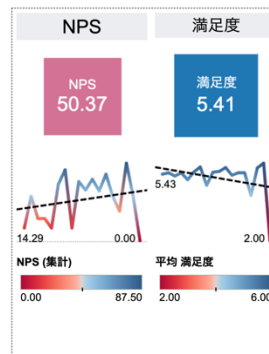


NPS (ネット・プロモーター・スコア) 推奨意向とは？

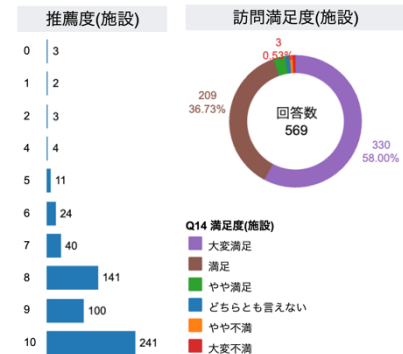


回答者全体に占める推奨者の割合(%)から、批判者の割合(%)を引いて出てきた数値がNPSの値となります

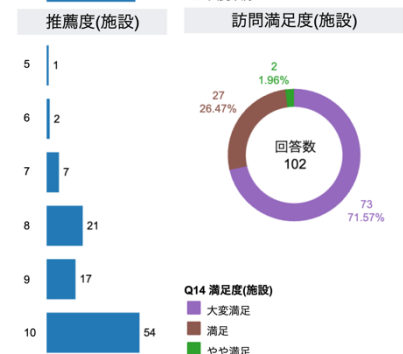
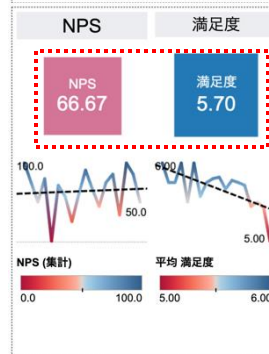
〔富山県〕



〔石川県〕



〔福井県〕



旅の総予算（1人当たり）別

(すべて)

☒ 10万円以上20万円未満

☒ 10万円未満

☒ 20万円以上30万円未満

☒ 30万円以上40万円未満

☒ 40万円以上50万円未満

☒ 50万円以上60万円未満

☐ 60万円以上70万円未満

☐ 70万円以上80万円未満

☐ 80万円以上90万円未満

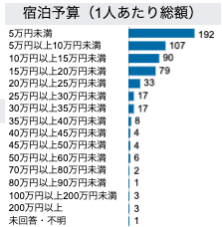
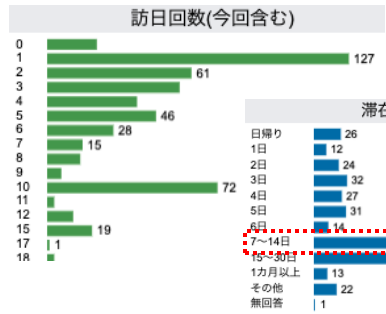
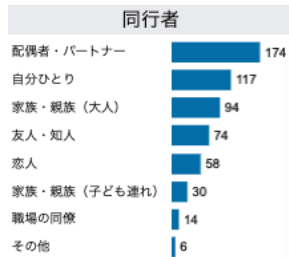
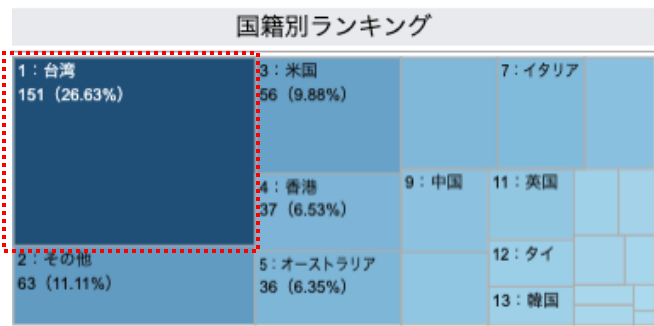
☐ 90万円以上100万円未満

☐ 100万円以上150万円未満

☐ 150万円以上200万円未満

☐ 200万円以上

☐ 未回答・不明



(すべて)

☐ 10万円以上20万円未満

☐ 10万円未満

☐ 20万円以上30万円未満

☐ 30万円以上40万円未満

☐ 40万円以上50万円未満

☐ 50万円以上60万円未満

☒ 60万円以上70万円未満

☒ 70万円以上80万円未満

☒ 80万円以上90万円未満

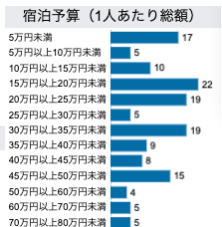
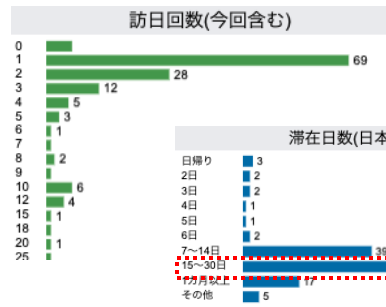
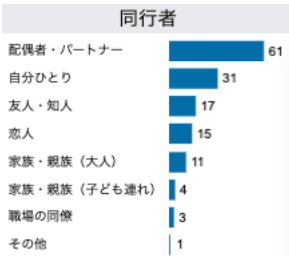
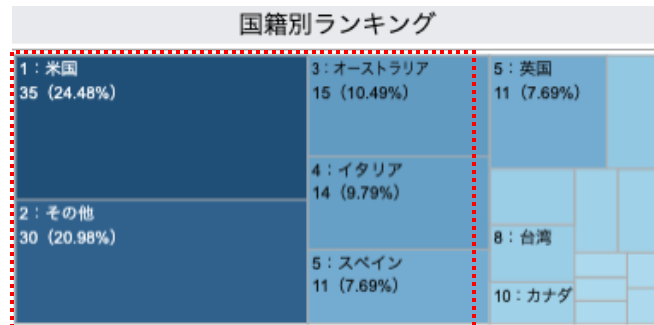
☒ 90万円以上100万円未満

☐ 100万円以上150万円未満

☐ 150万円以上200万円未満

☐ 200万円以上

☐ 未回答・不明



(すべて)

☐ 10万円以上20万円未満

☐ 10万円未満

☐ 20万円以上30万円未満

☐ 30万円以上40万円未満

☐ 40万円以上50万円未満

☐ 50万円以上60万円未満

☐ 60万円以上70万円未満

☐ 70万円以上80万円未満

☐ 80万円以上90万円未満

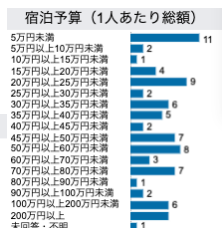
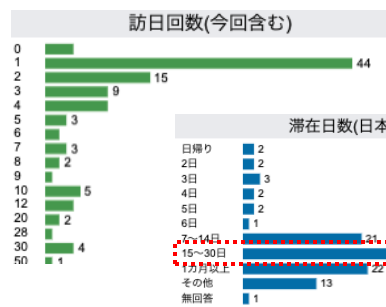
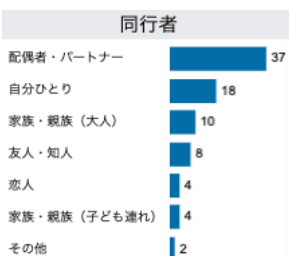
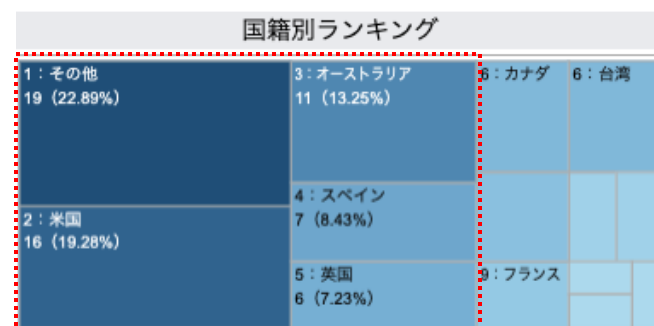
☐ 90万円以上100万円未満

☒ 100万円以上150万円未満

☒ 150万円以上200万円未満

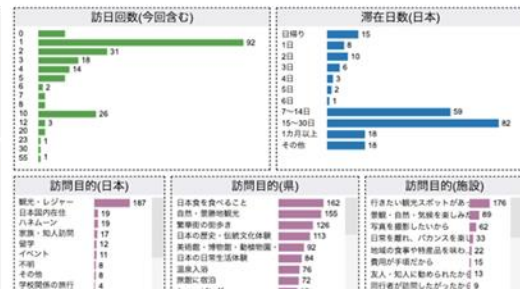
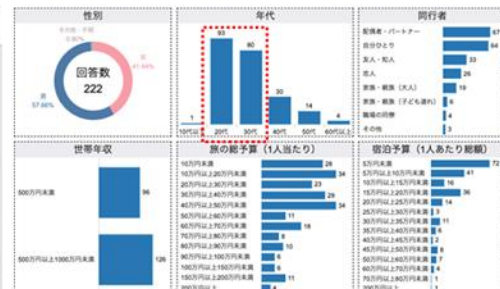
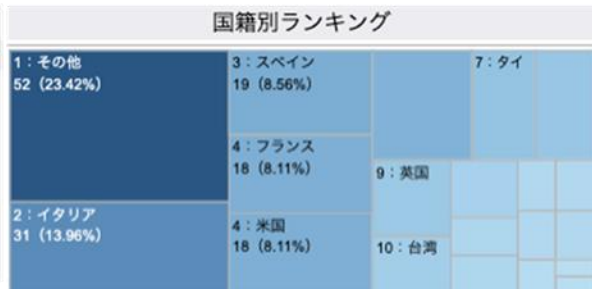
☒ 200万円以上

☐ 未回答・不明

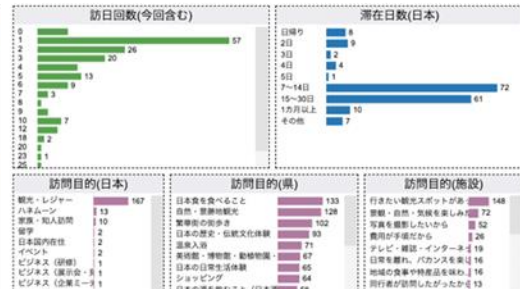
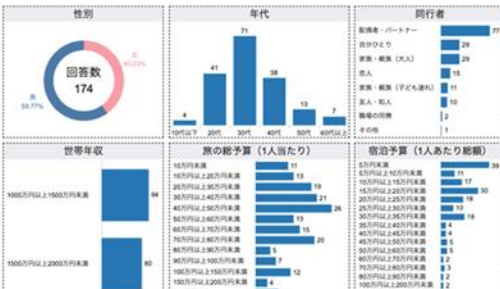
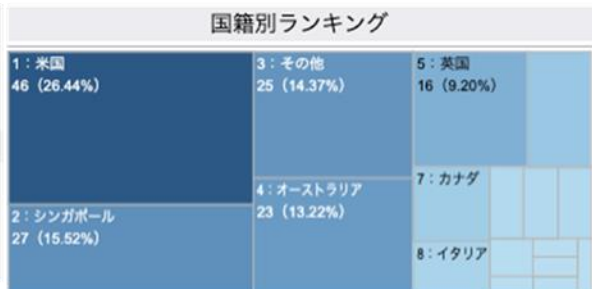


世帯年収別

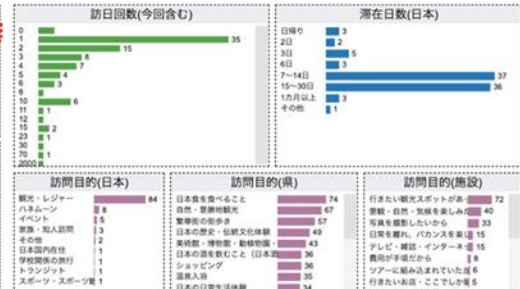
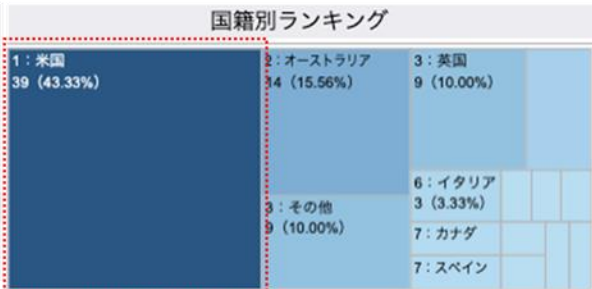
- (すべて)
- ☒ 500万円以上1000万円未満
- ☒ 500万円未満
- 1000万円以上1500万円未満
- 1500万円以上2000万円未満
- 2000万円以上3000万円未満
- 3000万円以上
- その他
- 未回答・不明



- (すべて)
- ☒ 500万円以上1000万円未満
- ☒ 500万円未満
- ☒ 1000万円以上1500万円未満
- ☒ 1500万円以上2000万円未満
- 2000万円以上3000万円未満
- 3000万円以上
- その他
- 未回答・不明

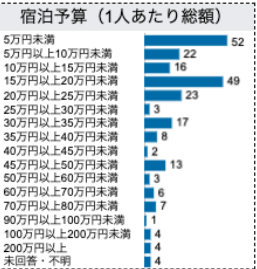
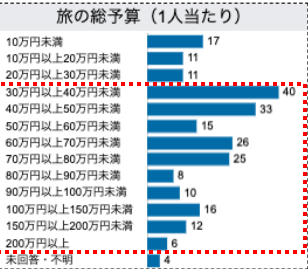
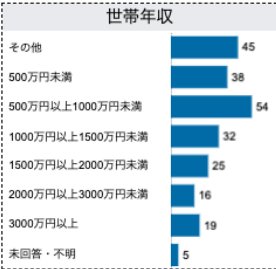
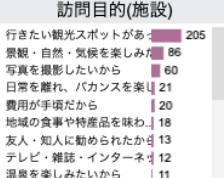
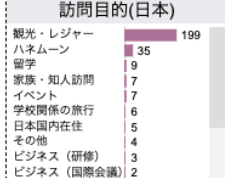
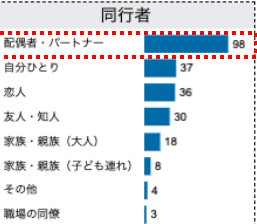
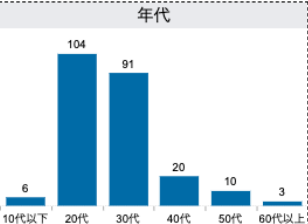
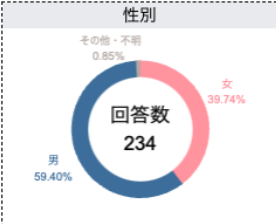
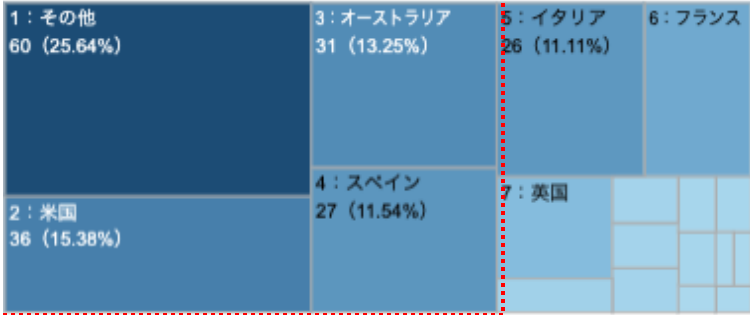


- (すべて)
- ☒ 500万円以上1000万円未満
- ☒ 500万円未満
- ☒ 1000万円以上1500万円未満
- ☒ 1500万円以上2000万円未満
- 2000万円以上3000万円未満
- 3000万円以上
- その他
- 未回答・不明

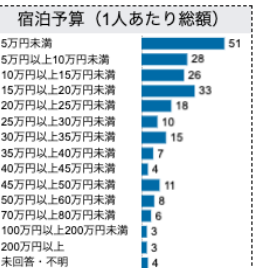
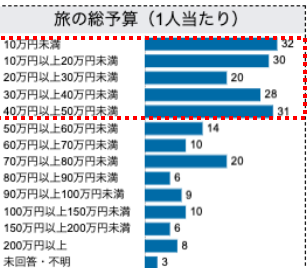
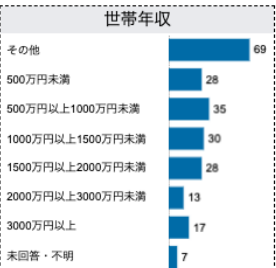
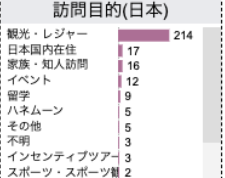
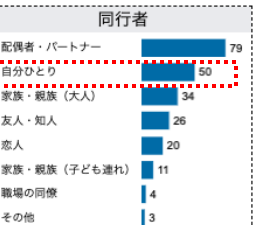
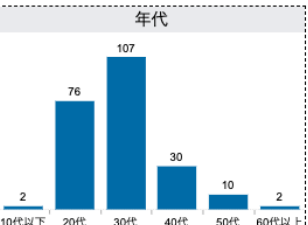
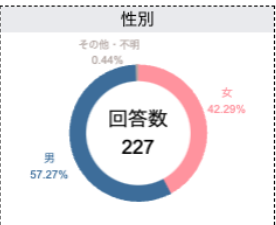


訪日回数別（1）

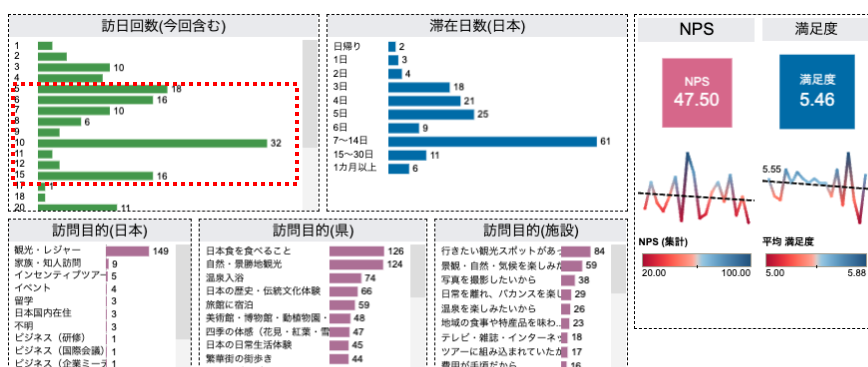
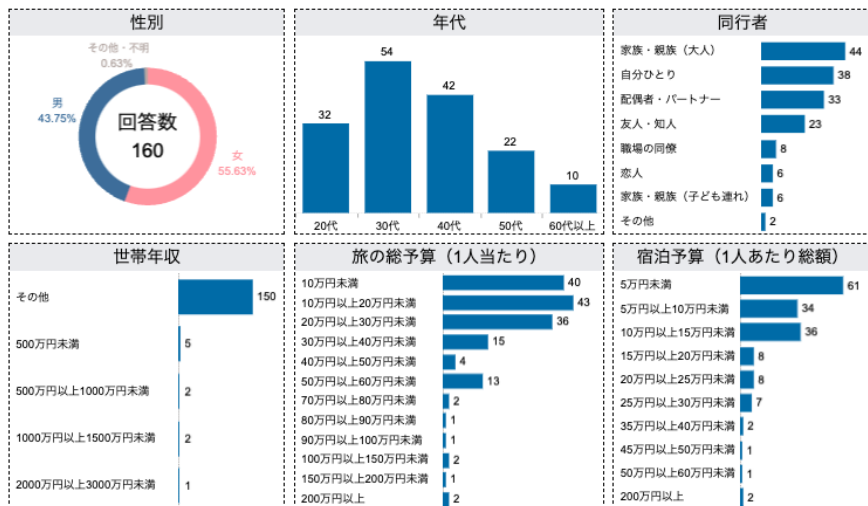
訪日1回目



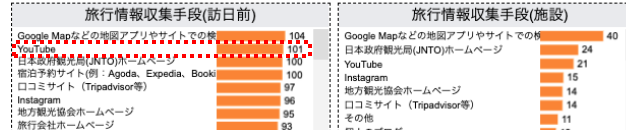
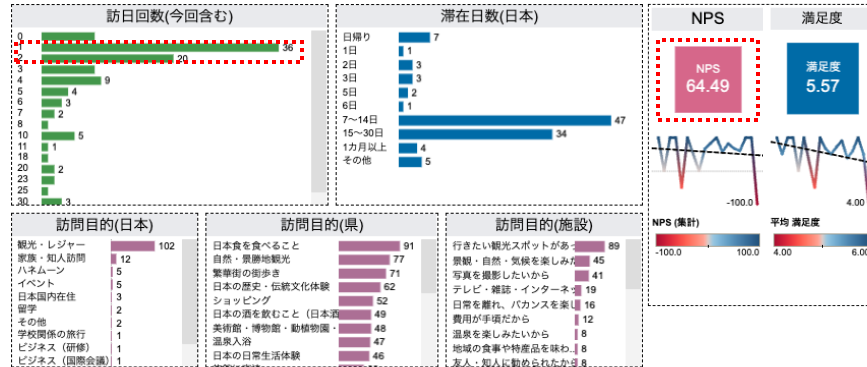
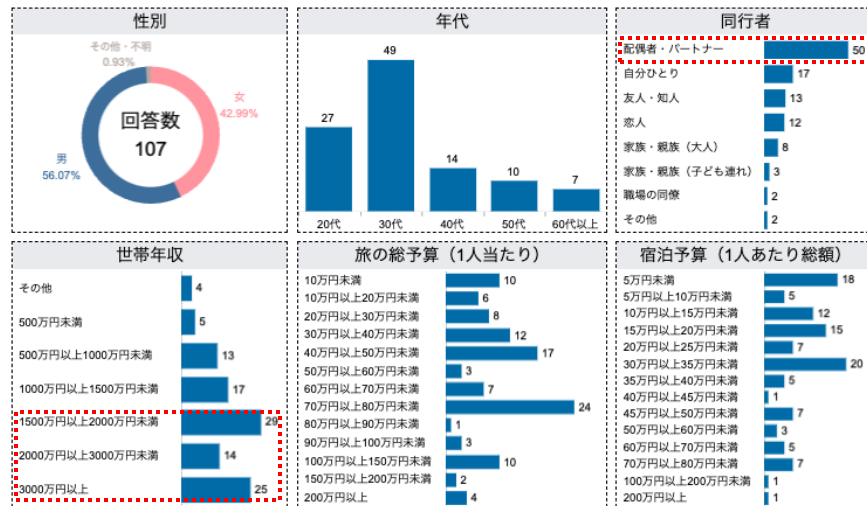
訪日2回～4回目



国別〔台湾〕



国別〔米国〕



4.実証事業

3.各取組の詳細

取組1.インバウンド観光データの網羅的な収集・把握

③AIカメラによる訪問者属性解析

インバウンドの国籍や出身地域（例えば東南アジア、ヨーロッパ、等）の情報についても把握することが望ましく、そのためにAIカメラを活用します。金沢大学の藤生准教授・森崎助教の研究室で取り組んでいる研究手法を活用し、観光案内所や主要な観光施設にAIカメラを設置し、訪問客の顔情報から出身地域（年齢、性別、属性（人種））をある程度の精度で推定できるよう、機械学習を繰り返させる中で認識レベルを向上させ、インバウンド旅行者の出身地の違いによる行動の違い等を分析します。

- 主要交通施設にAIカメラを設置。
- 訪問者の人種等のデータを推測・収集し、インバウンドの訪問傾向を把握。

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組1.インバウンド観光データの網羅的な収集・把握（③AIカメラによる訪問者属性解析）

■ システム開発

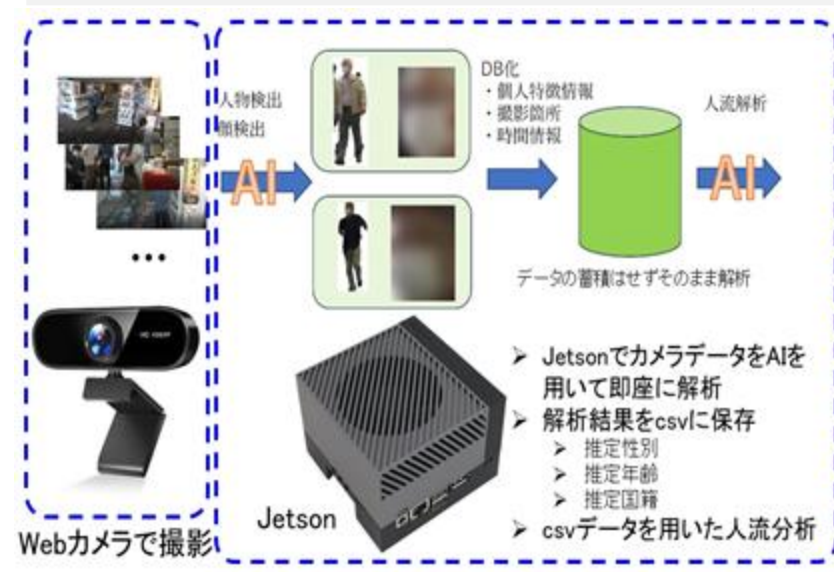
● コンセプト・機能概要

AIカメラを用いて北陸地域を訪問した旅行客の属性を取得するシステムを運用した計測を実施します。

AIカメラにより顔情報を検出しデータベースと照合し，AI解析を行うことで，推定年齢・推定性別・推定居住地等を推定します。

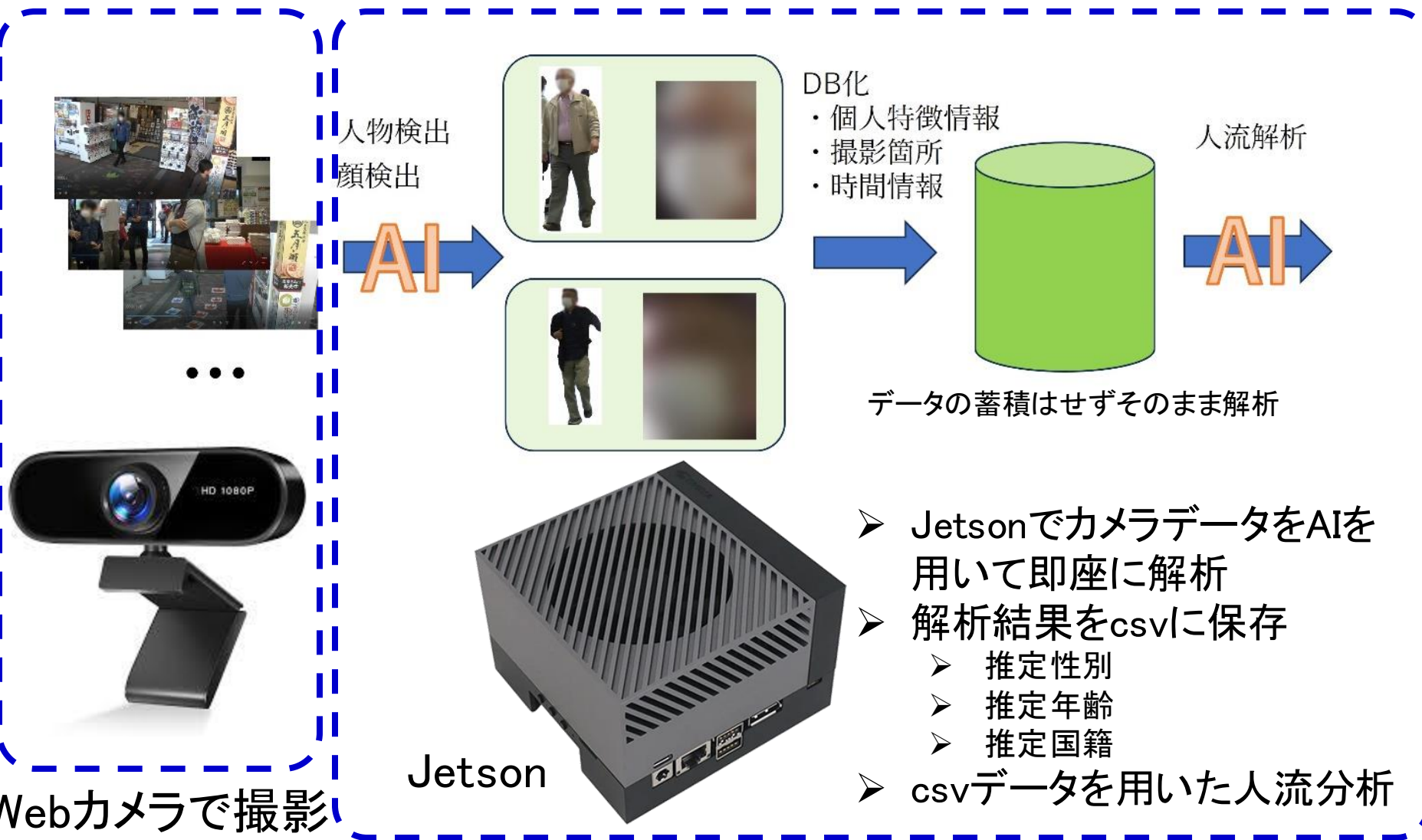
これらの推定には，顔推定・人物全体推定・顔・地域抽出アルゴリズム・判定システムを活用します。

● システム構成



AIカメラを用いた訪問者分析

人流解析データの取得フロー

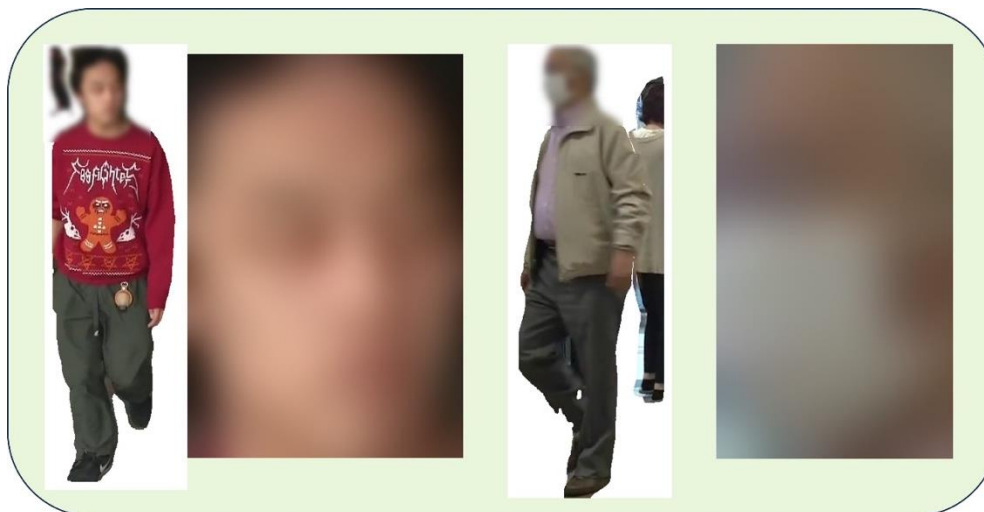


AIカメラを用いた訪問者分析

🌸 AIによる人物検出の例



🌸 AIによる顔領域の検出の例



AIカメラ設置場所



❁ 福井県：ふくい観光案内所

❁ 富山県：道の駅 雨晴

❁ 石川県：金沢駅観光案内所(金沢駅構内) * 途中で計測終了

AIカメラを用いた訪問者分析

🌸 AIカメラのデータ取得例

🌸 AIカメラで取得されたデータは即時解析されCSVに格納

number	date	time	gender	age	accuracy	nationality1	accuracy	nationality2	accuracy	nationality3	accuracy	direction
1	2024年10月30日	0:02	0	83	0.66	0	0.22	1	0.52	0	0.44	0.05
2	2024年10月30日	0:02	1	70	0.73	0	0.88	1	0.71	0	0.40	0.11
3	2024年10月30日	0:04	1	41	0.49	0	0.73	1	0.07	0	0.30	0.76
4	2024年10月30日	0:05	1	46	0.18	1	0.13	0	0.57	1	0.42	0.93
5	2024年10月30日	0:05	0	20	0.45	0	0.87	1	0.12	0	0.67	0.99
6	2024年10月30日	0:07	0	51	0.11	1	0.47	0	0.91	1	0.89	0.91
7	2024年10月30日	0:08	1	65	0.22	1	0.79	0	0.91	0	0.89	0.28
8	2024年10月30日	0:08	0	97	0.99	0	0.37	1	0.50	1	0.33	0.69
9	2024年10月30日	0:10	0	54	0.27	1	0.07	0	0.02	1	0.53	0.85
10	2024年10月30日	0:10	1	31	0.80	0	0.47	1	0.90	0	0.16	0.75
11	2024年10月30日	0:10	1	2	0.95	0	0.29	1	0.31	1	0.65	0.77
12	2024年10月30日	0:14	0	96	0.78	0	0.75	1	0.35	1	0.67	0.53
13	2024年10月30日	0:16	1	26	0.03	1	0.24	0	0.26	1	0.81	0.65
14	2024年10月30日	0:16	1	59	0.73	0	0.78	1	0.01	0	0.26	0.48
15	2024年10月30日	0:16	0	23	0.85	0	0.72	1	0.78	0	0.37	0.08
16	2024年10月30日	0:16	0	71	0.82	0	0.29	1	0.82	0	0.57	0.02
17	2024年10月30日	0:16	0	41	0.10	1	0.24	0	0.68	0	0.25	0.05
18	2024年10月30日	0:20	1	48	1.00	0	0.39	1	0.25	0	0.68	0.87

日時

推定性別・推定年代

推定国籍・精度

AIカメラを用いた訪問者分析の例：ふくい観光案内所の分析結果

■ 日本人，外国人の推定分布

□ 欧米 < アジア < 日本人

■ 欧米

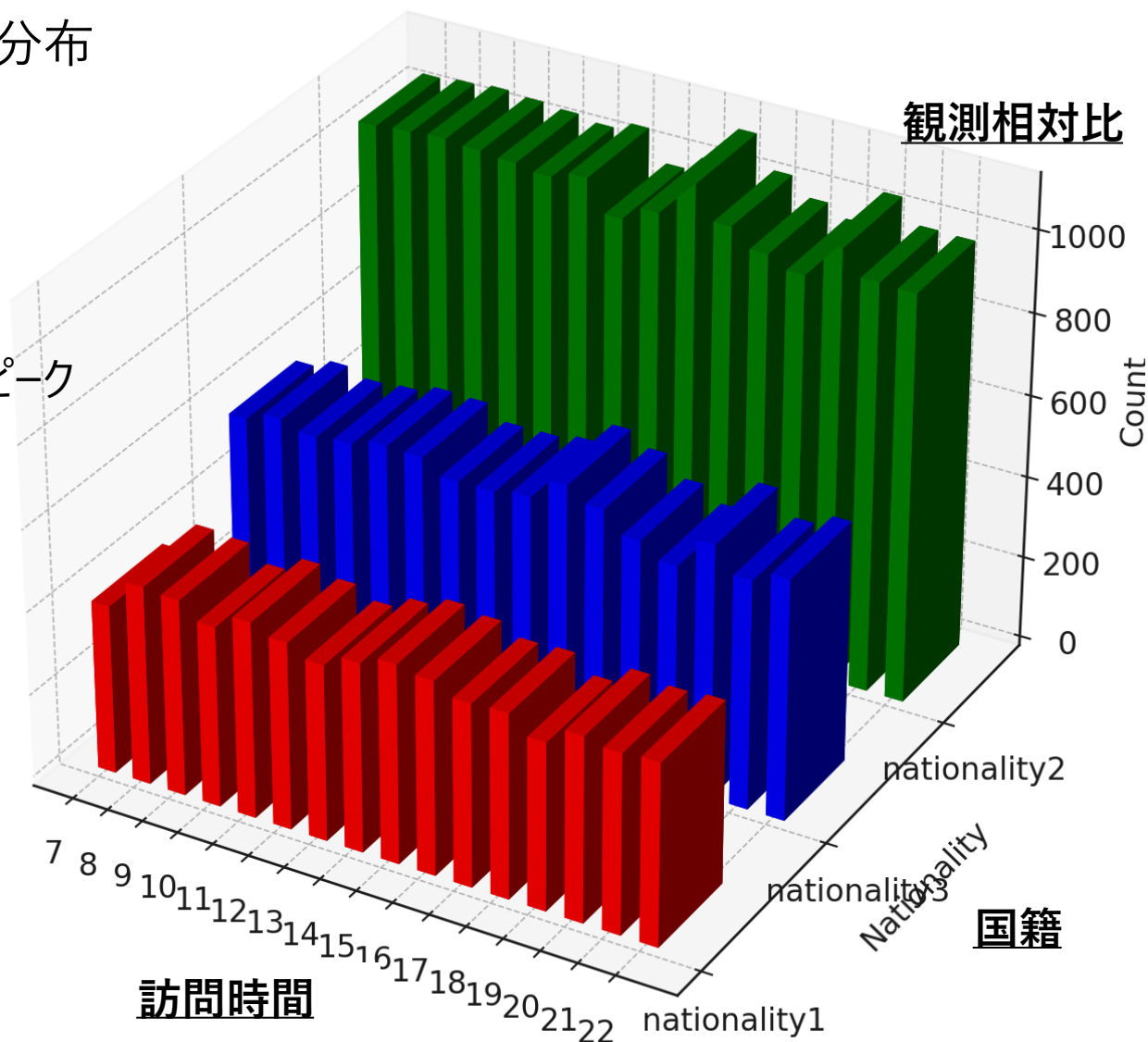
□ 朝（8～9時台）と
夕方（15時～17時）にピーク

■ アジア

□ 夕方に2つのピーク
□ 17時頃と20時頃

■ 日本人

□ 大きなピークは現れない
□ 13時頃，18時頃にピーク



4.実証事業

3.各取組の詳細

取組1.インバウンド観光データの網羅的な収集・把握

■ まとめ

・産官学連携や事業者への協力依頼・巻き込み等を通じ、北陸三県での共通のデータの取得体制を構築し、データ活用の機運を醸成できました。また、世界最先端の観光動態データの取得に成功し、北陸におけるインバウンドの周遊動態や来訪者の属性等について新しい知見を得ました。

■ 目標

・MACアドレス関連情報による
動態データ取得(50か所以上)
・QRアンケートの有効回答数
(10,000以上)

■ 結果

・MACアドレス関連情報による動態データ取得： 79 か所
・QRアンケートの有効回答数： 840 件

■ 結果の推移

観測指標	数値	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	最終実績
MACアドレス	50	0	0	50	50	50	50	-	50
実績	(該当月までの累計)	0	5	5	78	79	78	-	79
進捗率(%)	%	0%	10%	10%	156%	158%	158%	-	158%
観測指標	数値	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	最終実績
QRアンケートの有効回答数	10,000	0	0	3,000	6,000	9,000	10,000	10,000	10,000
実績	(該当月までの累計)	0	0	69	140	401	771	840	840
進捗率(%)	%	0%	0	0.7%	1.4%	4%	7%	8%	8%

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組2.オープンデータ化、見える化、BIツール化等の推進

■ システム開発（Githubを通じたオープンデータ化）

● コンセプト・機能概要

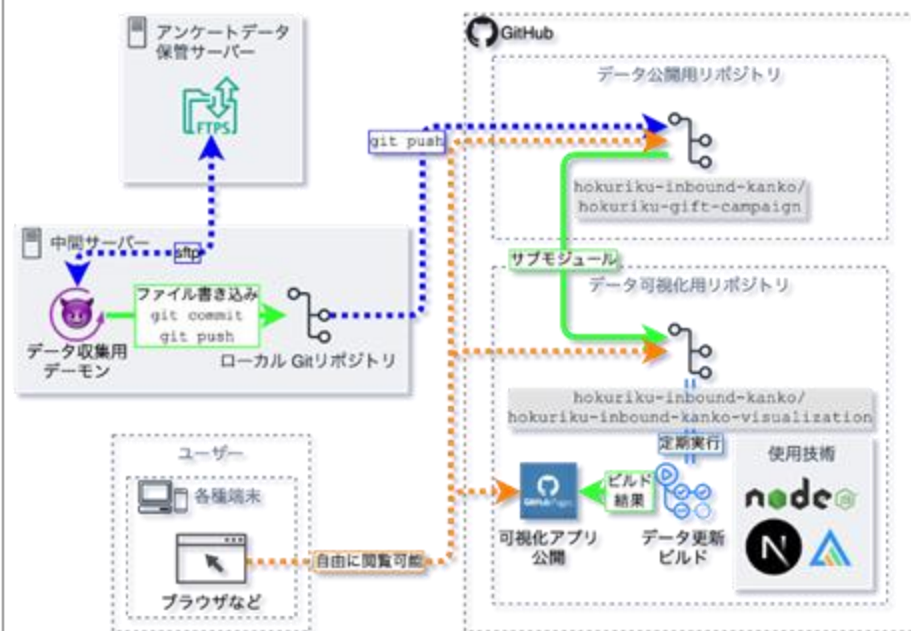
インバウンド旅行者向けに実施されているアンケートデータをGitHubを通じてオープンデータ化を行います。

日々更新されるデータを人の手を介さず収集・公開できる構成とします。

また、このデータを可視化するWebアプリケーションを開発し、GitHub Pagesを用いて公開します。

WebアプリケーションにはNext.jsを始めとした**Webサイトの表示を速くし、検索エンジンにも強く、開発もしやすい**最新の技術を利用し、閲覧者にわかりやすいデザインで軽量に動作するよう開発します。

● システム構成



※URL :

1. 可視化Webアプリケーション: <https://hokuriku-inbound-kanko.github.io/hokuriku-inbound-kanko-visualization/>
2. データ公開用リポジトリ: <https://github.com/hokuriku-inbound-kanko/hokuriku-gift-campaign>
3. データ可視化用リポジトリ: <https://github.com/hokuriku-inbound-kanko/hokuriku-inbound-kanko-visualization>



4.実証事業

3.各取組の詳細

取組2.オープンデータ化、見える化、 BIツール化等の推進

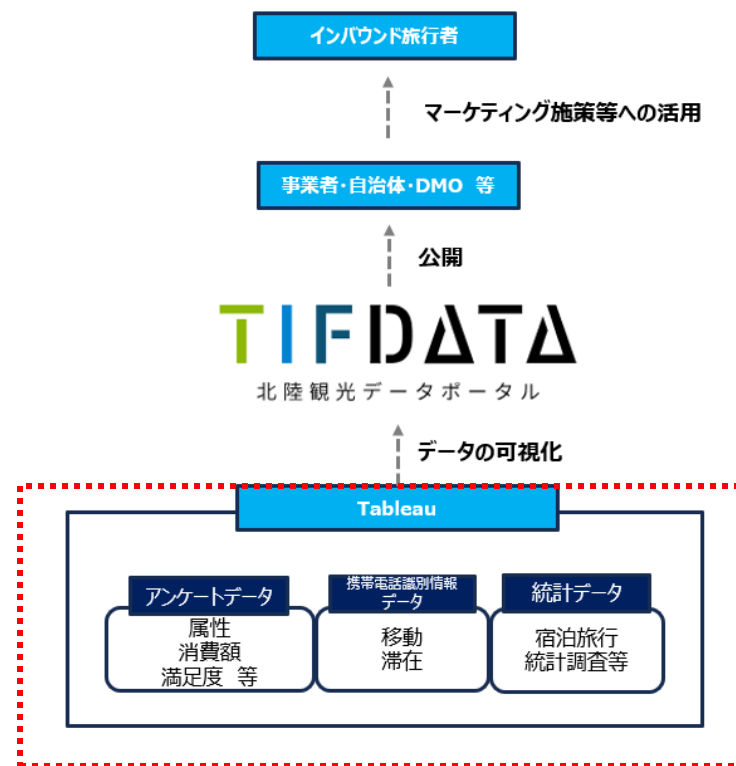
■ システム開発（Tableauによる見える化）

● コンセプト・機能概要

本事業で収集したアンケート（属性、消費額、満足度等）や携帯電話識別情報（移動・滞在）および国の統計データ（宿泊旅行統計調査等）について可視化するため、Tableauを用いてダッシュボードを作成します。

作成したダッシュボードを「TIFDATA北陸観光DMP」にて公開する。北陸3県の事業者・行政・DMOをはじめとする関係者が、インバウンド旅行者向けのマーケティング施策の検討等に活用いただくことを想定しています。

● システム構成



※URL：<https://tifdata.jp/>

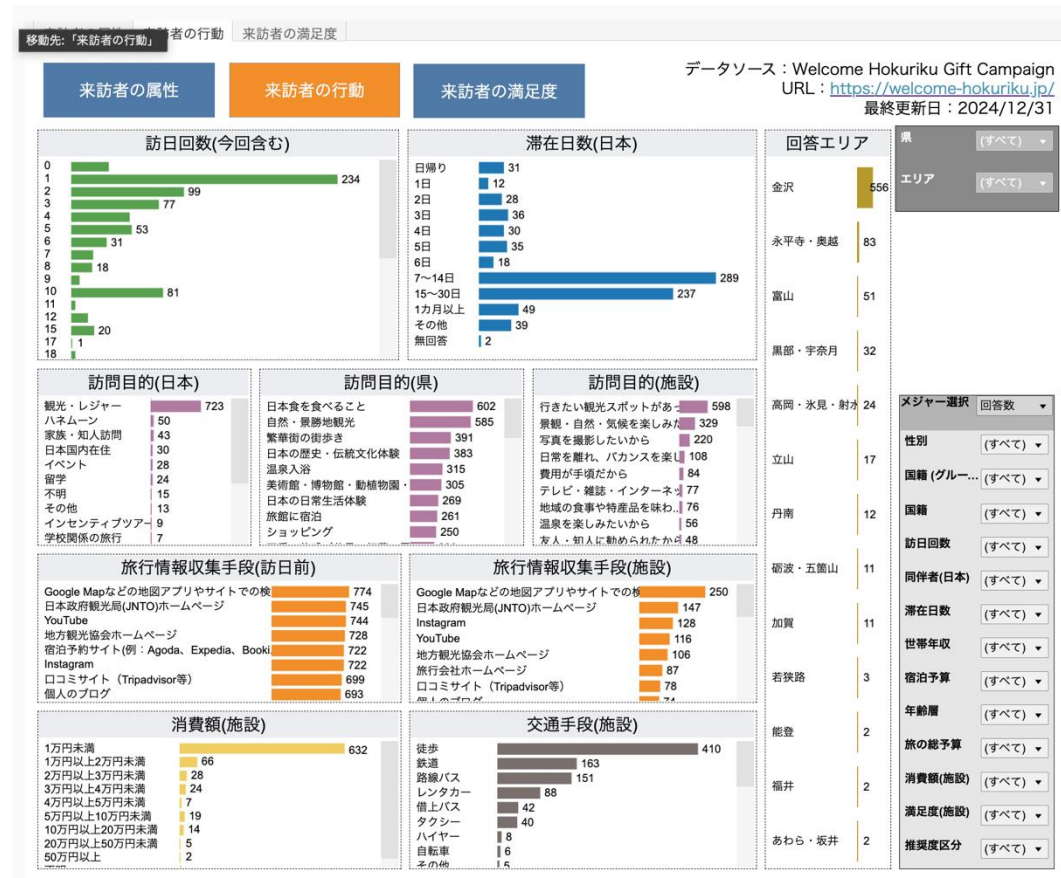
4.実証事業

3.各取組の詳細

取組2.オープンデータ化、見える化、BIツール化等の推進

■ システム開発（Tableauによる見える化）

● UI・UX



県や地域や属性を、
絞り込みや選択可能

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組2.オープンデータ化、見える化、 BIツール化等の推進

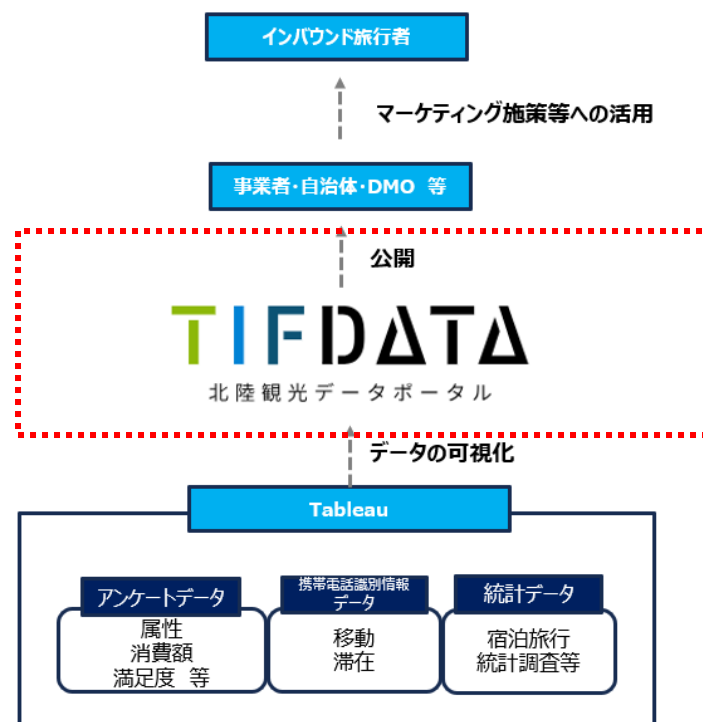
■ システム開発（TIFDATA）

● コンセプト・機能概要

TIFDATAは、観光業界や地域振興に携わる関係者を支援するためのデータプラットフォーム。独自データとして、QRコードアンケート、M5カプセル等を活用したデータを掲載します。さらに、官公庁やJNTO等行政・調査機関の信頼性の高いデータも一元化し、関連リンクを通じて広範な情報へのアクセスを提供するサイトです。

ウェブサイトは一枚構成で、PC・スマートフォン対応のレスポンシブデザインを採用し、ユーザビリティを重視。データリストやピックアップセクションで、必要な情報を効率的に参照できるほか、お知らせ機能を活用し 最新の情報を迅速に取得できるよう配慮しています。

● システム構成



※URL : tifdata.jp

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組2.オープンデータ化、見える化、 BIツール化等の推進

■ システム開発（TIF DATA）

● UI・UX



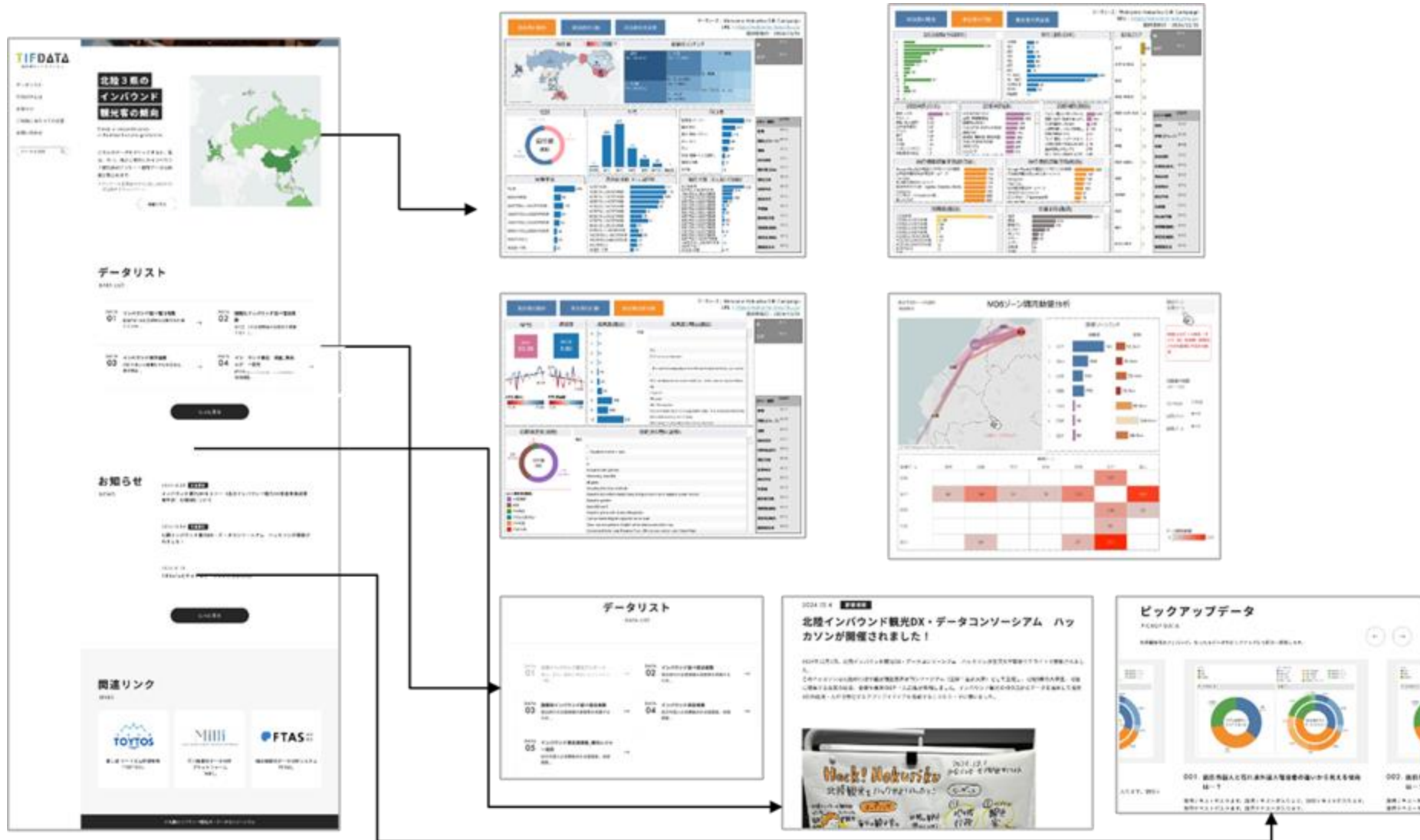
- ウェブサイトは一枚構成で、PC・スマートフォン対応のレスポンスデザインを採用しユーザビリティを重視しました。
- 元データをTableauにより可視化しました。
- データリストやピックアップセクションで、必要な情報を効率的に参照可能にしました。
- ピックアップセクションはスマホユーザーのすきま時間等の情報取得にしました。
- 深く調査したい方はPCからのアクセスをしていただきます。

コンテンツ

- 独自データ：QRコードアンケート
- 独自データ：M5カプセル
- データリスト
- ピックアップ
- お知らせ
- 関連リンク

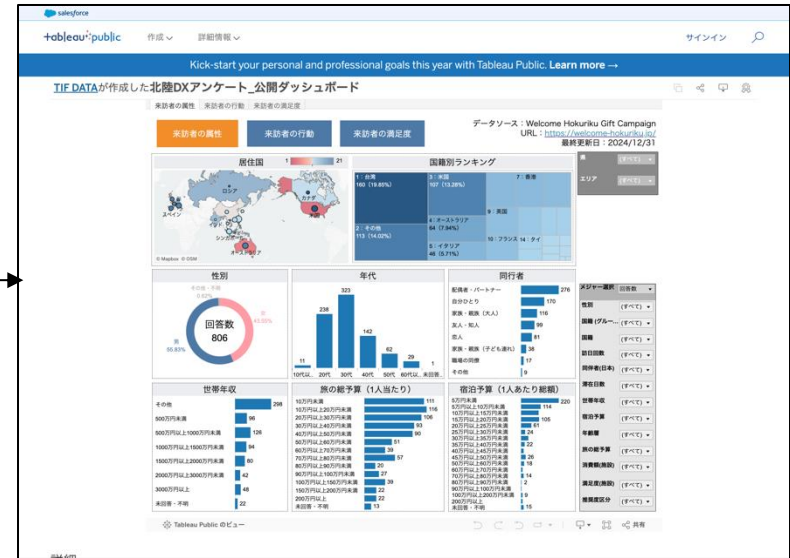
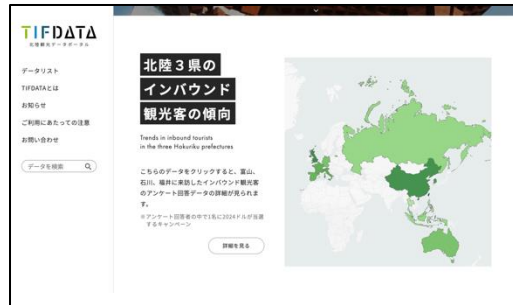
取組2.オープンデータ化、見える化、BIツール化等の推進

全体図

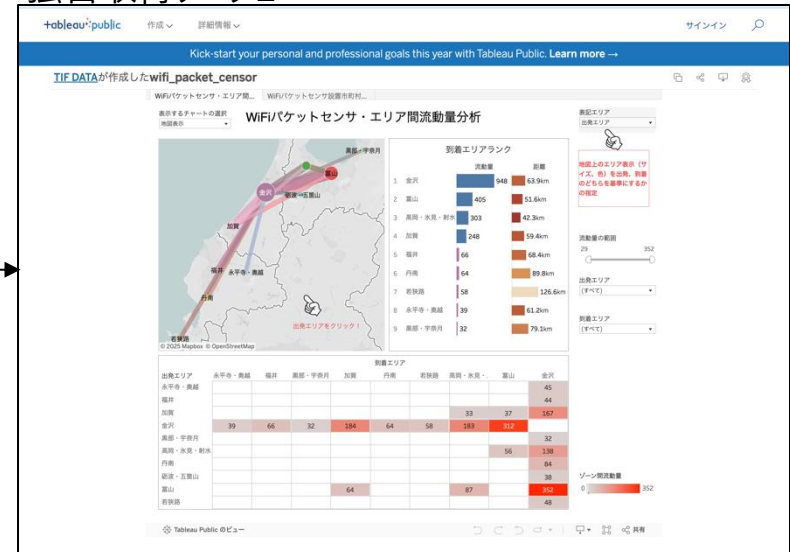


取組2.オープンデータ化、見える化、BIツール化等の推進

独自取得データ1



独自取得データ2



取組2.オープンデータ化、見える化、BIツール化等の推進



データリスト

DATA LIST

DATA 01 訪日外国人延べ宿泊者数 ※国・地域別	DATA 02 訪日外国人延べ宿泊者数 ※国・地域別
DATA 03 インバウンド延べ宿泊者数 ※国・地域別	DATA 04 訪日外国人延べ宿泊者数 ※国・地域別
DATA 05 インバウンド延べ宿泊者数 ※国・地域別	DATA 06 訪日外国人延べ宿泊者数 ※国・地域別

もっと見る

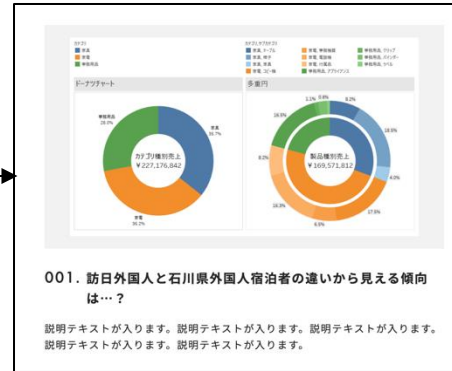
データリスト



データリスト1-6の6種類のデータに遷移

取組2.オープンデータ化、見える化、BIツール化等の推進

編集部のピックアップ記事



お知らせ



関連リンク

https://www.info-toyama.com/stories/toyama_tourismdata

<https://sites.google.com/view/milli-ishikawa-pref/>

<https://www.fuku-e.com/ftas>

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組2.オープンデータ化、見える化、BIツール化等の推進

■ まとめ

- データポータルサイトには6,051UUのアクセスがあり、地域のデータ活用の機運上昇に貢献しました。事業者からは「アンケートデータ等から人気施設やこれまで気が付かなかったインバウンドの動向がわかりました。」などの反応がありました。

■ 目標

■ 結果

・データセット数（4つ以上）	Tableau化したデータセット数：6セット
----------------	------------------------

■ 結果の推移

観測指標	数値	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	最終実績
北陸観光DXポータルUU数	1000	0	0	0	0	500	800	1000	1000
実績	(該当月までの累計)	0	0	0	0	62	1,548	6,051	6,051
進捗率(%)	%	0%	0%	0%	0%	1.2 %	193%	605%	605%
観測指標	数値	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	最終実績
データセット数	4つ以上	0	0	0	0	4	4	4	4
実績	(該当月までの累計)	0	0	0	0	1	5	6	6
進捗率(%)	%	0%	0%	0%	0%	25%	125%	150%	150%

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組3.データの社会実装及び必要な環境の整備

目的：〔取組1〕〔取組2〕の成果を活用し、北陸三県での一体的な観光振興・インバウンド対策の強化に向けた具体的な取組を生み出すことを目的とします。

アプローチ：1. WGを設置し、観光データの活用方策や必要なデータの種類等について議論する

2. 本事業での取得データを分析し、インバウンド観光客に係る北陸3県での共通ターゲットの検討や、事業者による観光コンテンツの磨き上げ等に繋げる

3. 本事業に参加する3県の産学官が連携して、次年度以降に行う取組を創出する

取組概要：

① 3県共通のオープンデータの収集・理解・議論

観光データや関連取組を集約・発信するDMP（Data Management Portal）の構築に向けて、3県事務局とコンソーシアム事務局からなるWGを週1回の頻度で開催しました。

定期的に進捗確認を行うことを通じ、今後のデータ活用の在り方はもちろん、データのオープン化の範囲や様式（クレンジングの方策など）、次年度に向けた事業化・予算化（M5カプセルを用いた自治体での新規予算の獲得など）、地域一体となった活用方策の将来像（地域DMOの形成など）といった、今後どのような形でデータを活用していくかについて様々なアイデアを出し合ったり、具体的な方策についての検討を行いました。

② 事業者によるデータ分析

収集したデータや関連する観光データの理解を促進するため、セミナーの開催や事業者に直接説明する場を設けました。事業者からは「アンケートデータ等から人気施設やこれまで気が付かなかったインバウンドの動向がわかりました。」などの反応がありました。

③ 3県の産学官連携の促進

WGでの議論や各県庁・県観光連盟との意見交換を重ねることで、観光データについて共通の基盤で取得から分析・活用の検討に至るまでの活動をできる体制を一時的に構築できました。次年度以降も継続して取組を行うことの合意形成を図るとともに、本コンソーシアムの代表機関である金沢大学においても受け皿となる体制を構築するための準備を進めています。

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組3.データの社会実装及び必要な環境の整備

■ まとめ

- 各県事務局とのやり取り等を通じ、事業者等における観光データの活用の萌芽を発掘しました。
- 各県における次年度事業の検討に本事業での成果を活用するとともに、三県の産学官連携でのデータ収集・検討・活用基盤の構築を次年度実施する予定です。

■ 目標

・合意形成のための協議・会議を
月1回以上実施

■ 結果

・合意形成のための協議・会議を毎月4回以上実施し、
合計34回実施

■ 結果の推移

観測指標	数値	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	最終実績
合意形成のための 協議、会議	月1回以上	1	1	1	1	1	1	1	7
実績	(該当月までの 累計)	7	6	4	4	5	4	4	34
進捗率(%)	%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

北陸未来共創フォーラム観光分科会 観光DX推進WG(仮称)

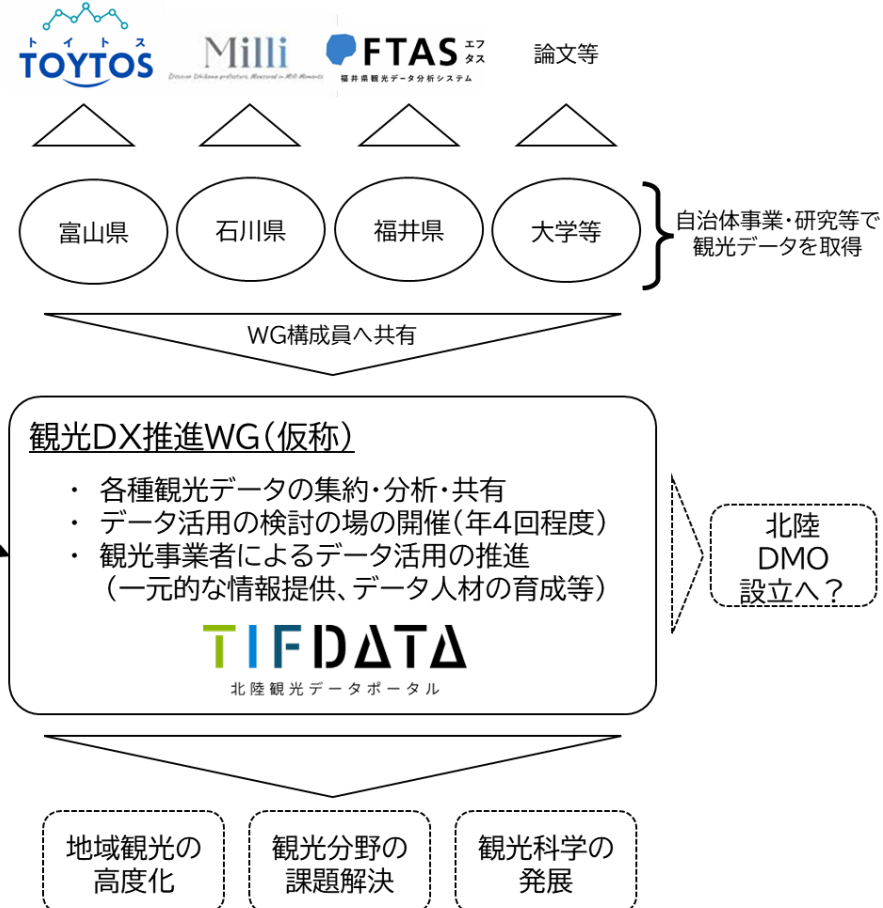
観光庁事業(R6年度)での知見や枠組みを生かしつつ、北陸3県の産学官が一体的に観光関連データを収集及び活用し、地域観光の高度化や観光にかかる諸課題の解決、観光科学の発展を図るためのプラットフォームとして活用

<構成>

座長:金沢大学FITS
副座長:富山大学、JAIST、福井大学
構成員:富山県、石川県、福井県
北陸銀行、北國銀行、福井銀行
北経連、各県の観光連盟・機構
希望する自治体・機関・企業等
事務局:金沢大学内に設置
(担当マネージャー1名、事務員1名)

<予算>

- ・事務局人件費
- ・3県データポータルサイト「TIFDATA」管理
- ・各県・機関が収集したデータの集約・分析・活用
- ・会議費、出張費など



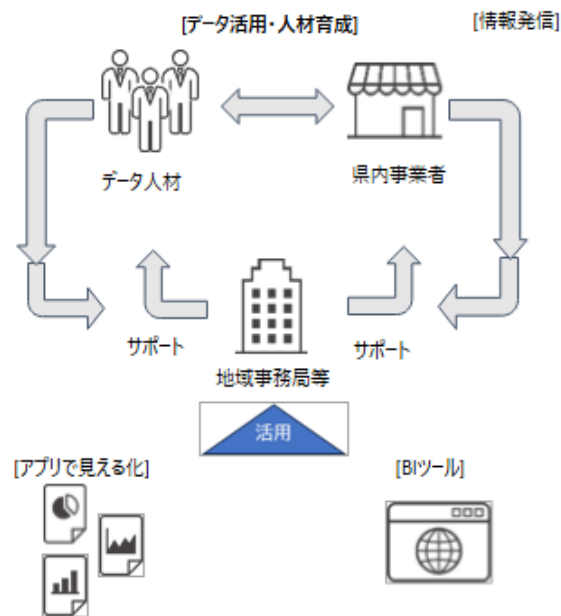
4.実証事業

3.各取組の詳細

取組4.データリテラシーの高い人材の育成

- コンセプト・機能概要

データ人材育成を推進するため、TIFDATAのデータを通じ、事業者とコンソーシアムの連携を深める取組や、ハッカソン等の若手人材のデータ分析スキルを育成する実践的なプログラムを実施します。



ハッカソンの開催: 学生を対象に、データ分析や活用の実践的スキルを養うためのハッカソンを開催し、若手人材の創造的な問題解決能力を育成します。

データ報告会の実施: 北陸三県の観光事業者を中心にデータ報告会を開催し、データに関する理解と必要性と協力体制を向上させます。事業者向けの個別勉強会も実施します。

コンソーシアム参画企業のボトムアップ: 参画企業自体のデータ活用能力が本実証事業に取り組むことで、向上するよう、環境を構築します。

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組4.データリテラシーの高い人材の育成

データ活用リテラシーの向上は、産学官それぞれにとって不可欠であるため、北陸地域内でデータ人材の育成を一体的に推進するため、以下の取組を実施しました。

Hack!Hokuriku 北陸観光をハックせよ！

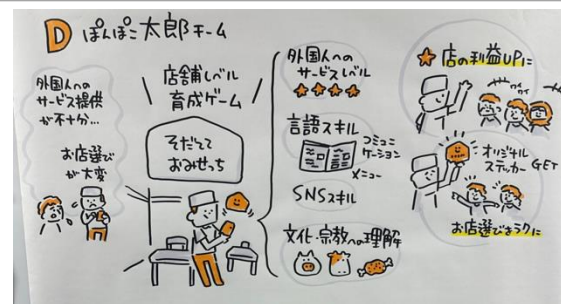
～データで拓く未来の観光～を開催

日 程：2024年12月1日（日）10:00～17:30

対象者：観光やデータ利活用に関心がある学生エンジニア、デザイナー（社会人も可）

会 場：金沢大学駅前サテライト

参加者：北陸3県の大学生、北陸に関係する企業の社員、愛媛や東京の6チーム25名が参加



インバウンド観光の切り口からデータを活用して北陸3県の経済・人が活性化するアプリアイデアを作成することをテーマに競われ、以下のアイデアのアプリが企画された。参加した学生からも「事業者のニーズを深く知ったうえで仮説立ててアプリを企画する事ができた」「データによってインバウンドの動向を把握可能になったうえで、企画ができて有用だった」「いつか事業者や地域の役に立つアプリを本格リリースしたい」といった感想が聞かれました。

【企画されたアプリ一覧】

- ・店舗レベル育成ゲームを通じて外国人へのサービスレベルを向上させるアプリ（最優秀賞）
- ・観光地の魅力を再発見するアプリ
- ・HOKURIKU Mystery Tour
- ニッチだけど価値のある場をパーソナライズして訪問するきっかけを作るアプリ
- ・Mactラベル 旅先での次の訪問地をおすすめするアプリ



4.実証事業

3.各取組の詳細

取組4.データリテラシーの高い人材の育成

データ活用リテラシーの向上は、産学官それぞれにとって不可欠であるため、北陸地域内でデータ人材の育成を一体的に推進するため、以下の取組を実施しました。

インバウンド観光DXセミナーを開催

日 程：2025年1月22日（水）10:30～12:00

対象者：事業者、行政関係者など

会 場：オンライン（アーカイブ配信あり）

本事業で調査したデータの分析結果を学術的視点とビジネス視点で説明を分け、今後の観光データ活用の可能性等を広く周知できました。

<セミナープログラム>

10:00～10:35 本事業の概要説明／秋本純一 観光庁 参事官（産業競争力強化）付 専門官

10:35～10:50 北陸インバウンド観光DX推進事業の説明／今 洋佑 金沢大学先端観光科学研究所 特任准教授

10:50～11:20 観光科学の観点から読み解くインバウンド観光データ／森崎 裕磨 金沢大学先端観光科学研究所 助教

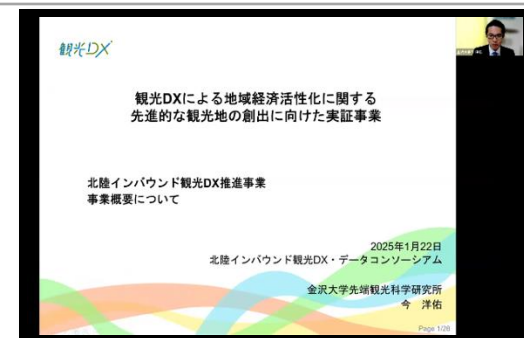
11:20～11:40 アンケート調査結果を踏まえたデータマーケティングのガイド／佐竹 正範 北陸インバウンド観光DXデータコンソーシアム事務局

11:40～11:45 北陸観光データポータルサイト「TIF DATA」についての説明／田中 直史 北陸インバウンド観光DXデータコンソーシアム事務局

11:45～12:00 意見交換

<参加者の感想>

観光DXに関する理解が深まりました。もっと北陸全体に広がることを期待しております。



4.実証事業

3.各取組の詳細

取組4.データリテラシーの高い人材の育成

■ まとめ

- ハッカソン、セミナーにおいては、教育や事業等、それぞれの視点から多くの参加者を得られたことから、本事業において収集したデータの有用性や、今後の観光データ活用の可能性等を広く周知でき、有為な人材に新たな機会を与えることができました。

■ 目標

・データ活用に参画した事業者数
(3県で20以上)

■ 結果

データ活用に参画した事業者数 29

■ 結果の推移

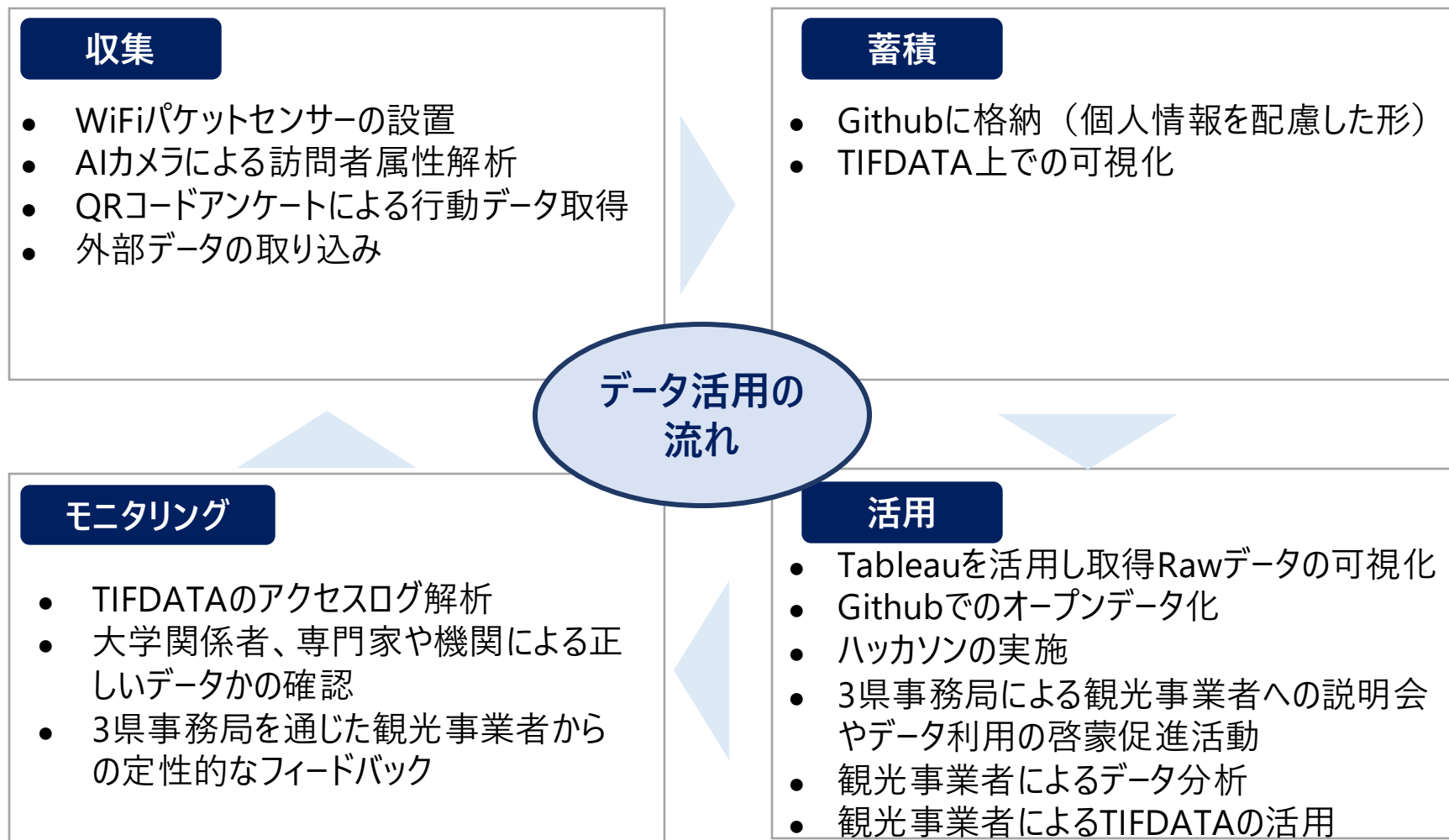
観測指標	数値	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	最終実績
データ活用の 取組に参画した 事業者数	3県で20以上	0	0	0	0	20	20	20	20
実績	(該当月まで の累計)	0	0	0	0	3	3	29	29
進捗率(%)	100%	0%	0%	0%	0%	15%	15%	145%	145%

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組1-4.インバウンド観光データの網羅的な収集・把握

データ活用の流れを示します。



5.総括

5.総括

1.実証事業の成果

実証事業の総括と成果を示します。

■ 実証事業の総括

北陸3県の産学官16団体で構成されるコンソーシアムを運営し、広範囲にわたり、これまでにない動態データとアンケートデータを取得できました。異なる立場の地域が連携し、データの見える化・活用の議論を行い、産業振興と研究推進を両立するオープンデータ化と見える化を実現することができました。ハッカソンやセミナーなどによりも実施し、次世代のデータ人材の育成もおこなうことができた。事業者からはデータに基づいて来年以降の取組の改善に役立てたいとの声が聞かれました。

KGI

目標値 北陸観光データポータル（TIF DATA）ユニークユーザー数 1000UU（累計）

成果 北陸3県の事業者や行政等によるデータを活用した観光振興の基盤を構築する

取組	取組内容	目標	結果	頁
取組1	インバウンド観光データの網羅的な収集・把握	・MACアドレス関連情報による 動態データ 取得 (50か所以上) ・QRアンケートの有効回答数 (1万以上)	・MACアドレス関連情報による 動態データ取得 (79か所) ・QRアンケートの有効回答数 (840)	P.34
取組2	オープンデータ化、見える化、BIツール化等の推進	データセット数 (4つ以上)	・Tableau化したデータセット数 (6セット) ・TIFDataアクセス数 (6,051UU) ・githubにアップしたデータ数 (3種類)	P.47
取組3	データの社会実装及び必要な環境の整備	合意形成のための協議・会議を月1回以上実施	・合意形成のための協議 ・会議を毎月4回以上実施し、合計34回実施	P.50
取組4	データリテラシーの高い人材の育成	データ活用に参画した事業者数 (3県で20以上)	データ活用に参画した事業者数 29	P.55

5.総括

1.実証事業の成果

勉強会での事業者からの声

12/26芦原温泉旅館組合（旅館経営者6名）およびあわら市観光協会 ※福井県の主要宿泊地域

- ・あわら温泉地域としてのターゲット設定に役立てられそう。
- ・北陸における金沢のインバウンドのボリュームを数値であらためて実感。金沢-京都におけるあわら温泉宿泊のツアープランを準備し営業していきたい。
- ・北陸の位置づけ、その中での福井の位置づけを考えていきたい。
- ・民間サイドとしては、行政サイドの施策が見えづらい部分もある。このようなデータをもとにした話し合いや連携ができるとよい。

1/10福井県通訳案内士協会（同協会会長1名）※インバウンドのリアルな動向を把握

- ・兼六園-金沢城公園-尾山神社のコースはガイドの際にも主流であり、アンケートにも反映されているかもしれない。21世紀美術館閉鎖期間の影響で、旅行会社のクルーズツアーの行程とされることができた。
- ・満足度が高い要因としては、北陸地域が混雑していないこともポイントと感じる。
- ・旅ナカの情報収集について、翌日の予定等を自分の現在地をベースにGoogleで検索している姿が多く見受けられる。

1/10ふくい観光案内所（同案内所所長1名）※インバウンドのリアルな動向を把握

- ・今回のアンケート回答者は個人旅行の方中心と思い、観光案内所利用者と重なると思うが、アンケート結果と現場感覚は概ね一致していると感じる。
- ・情報収集においては、SNS利用が多いと感じており、観光案内所へ来られた方もSNSの写真を案内所スタッフに見せながら質問している姿も多く見受けられる。
- ・案内所では各地の外国語パンフレットも使用しながら対応しているが、アンケートデータ等から人気の施設や案内所スタッフが気づいてないインバウンドの動向がわかりました。とより参考になる。



データポータルサイトを閲覧した事業者からの声

◆金太郎温泉（旅館経営者） 富山県魚津市

「につぼんの温泉100選」にも選ばれた当館の魅力を海外に伝えるため、予約ウェブサイトの多言語化等に 取り組んでいます。現在、宿泊者全体の1割程度をインバウンドが占めており、その増大をH指す上で、観光データは貴重な指標になります。例えば、月ごとの宿泊者数の推移は、ダイナミックプ ラ イシングや閑散期を埋める販促計画等に役立つのではないのでしょうか。また、8本人とは異なる消費動向に注Hしています。当館でも浴衣を欲しがる外国人の多さに驚きました。そうしたリアルなニーズをアンケート等から読み取り、インバウンドの誘客に生かしていきたいと思います。

◆武家屋敷野村家（代表） 石川県金沢市

「野村家」を訪れるインバウンドはコロナ前より増加しており、2024年は日 本人旅行者を上回りました。特に家族連れが目立つのが最近の特徴です。国籍で見ると、石川県全体では台湾が圧倒的ですが、野村家ではアメリ カやイタリア、フランス等欧米からの旅行者が目立つように感じています。こうした肌感覚を、観光データで裏付けることができれば、自信を持ってマーケティング活動を行えます。今後はデータを根拠に、旅行者に配付するパンフレットのさらなる多言語化を進める等、インバウンドの満足度向 上に努めたいと考えています。

5.総括

2.今後の展望

今後の更なる推進に向けて、認識された主な課題点や展望は以下のとおりです。

観光データの活用の在り方

- データ（数値）は必要であるが、そのみでは戦略は立てられません。
- データは表面的なものであり、データ化には限界があるなかで、数値の裏に隠れているものも理解していく必要があります。（現場ヒアリング等で背景情報を取得することも有用）

オープン化（データベース化）の難しさ

- データの種類によっては、生データをそのまま使えず、整形（クレンジング）やそのための背景知識（ノウハウ）の取得・共有が必要です（様々な立場の視点を踏まえた議論が必要）。
- ひとえに「オープンデータ」と言っても、誤解を招く処理や見える化を避けるためにも、データの意味や、データに施されている前処理の情報を付加することが肝要です。

産学官によるコンソーシアムの難しさ

- 各主体における仕事環境や、その手前の言葉の定義・業界の常識等が異なる中で、同じ目線で事業を推進することには困難が多いが、その分達成できる成果も大きいです。
- 言葉の裏側にある思考（回路）を把握してコミュニケーションすること、相手の立場や役割へのリスペクトを常に持つことが必要です。

- 次年度以降、本事業での成果や枠組みを活用し、北陸3県での産学官によるワーキンググループの中で、更なるデータの取得や活用、観光事業者の巻き込み、北陸一体となったマーケティングのあり方等について検討を進めます。
- 各県における次年度事業の検討に本事業での成果を活用し、一部は次年度予算として実施する予定です。
- 「北陸未来共創フォーラム」を活用し、三県の産学官連携でのデータ収集・検討・活用基盤の構築を次年度実施する予定です。

おわりに

本事業の実施に当たっては、様々な新規要素・高難易度要素があり、当事者としても大変チャレンジな取組と自覚していましたが、何とか走りきることができ、安堵しています。

- 事業の実施規模
（北陸3県、産学官をまたぐ16団体によるコンソーシアムの運営）
- 調査の新規性
（特にM5カプセルは技術自体も発展の過程にあり、3県79か所という広範囲・多地点への設置は学術的にもまったくの新しい挑戦）
- 見える化・分析・活用の難しさ
（立場の異なる3県（県内でも地域によってインバウンド観光への立場は大きく異なる）が連携して、一つの形でデータを見せて、活用する議論には慎重さと大胆さが必要です）
- オープンデータ化
（大学の知見を活用することで、これまでにないデータを取得・分析することが可能となる一方で、論文発表を必要とする大学の立場と、広くデータ活用・オープン化を推進する産業振興側の立場を両立する極めてセンシティブな検討の必要性が明らかとなり、今後引き続きの課題と言える）

このように、成果を出せるかどうか不確定な部分が多分にあった本事業を（果敢にも）採択いただき、実施に当たり様々なご助言やご助力を下さった観光庁（及び関連の）皆さまや、負担は多いが成果は見えにくい本事業に協力いただいた北陸3県の皆さまに、心からお礼申し上げます。